

用語の解説

1 用語の解説

死産 : 妊娠満 12 週（妊娠第 4 月）以後の死児の出産をいう。

自然死産及び人工死産 : 自然死産とは胎児の母体内生存が確実なときに人工的処置（胎児、又は付属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用）を加えることにより、死産に至った場合をいい、それ以外はすべて自然死産という。なお、人工的処置を加えた場合でも次のものは自然死産という。

- ・胎児を出生させることを目的とした場合
- ・母体内の胎児が生死不明か又は死亡している場合

周産期死亡 : 妊娠満 22 週以後の死産に、早期新生児死亡をあわせたものをいう。

後期死産 : 妊娠満 22 週以後の死産をいう。

早期新生児死亡 : 生後 1 週（7 日）未満の死亡をいう。

妊産婦死亡 : 妊娠中又は妊娠終了後満 42 日未満の女性の死亡で、妊娠の期間及び部位には関係しないが、妊娠若しくはその管理に関連した、又はそれらによって悪化した全ての原因によるものをいう。ただし、不慮又は偶発の原因によるものを除く。

乳児死亡 : 生後 1 年未満の死亡をいう。

新生児死亡 : 生後 4 週（28 日）未満の死亡をいう。

低出生体重児 : 出生体重 2500 g 未満の出生児をいう。

極低出生体重児 : 出生体重 1500 g 未満の出生児をいう。

超低出生体重児 : 出生体重 1000g 未満の出生児をいう。

人工妊娠中絶 : 胎児が、母体外において生命を保持することのできない時期（通常妊娠満 22 週未満）に、人工的に胎児及びその付属物を母体外に排出することをいう。

合計特殊出生率 : 15 歳から 49 歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1 人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとした時の平均子ども数に相当する。

人工置換え水準 : 合計特殊出生率がこの水準以下になると人口が減少することになるという水準で、わが国では 2.08 前後の数値が該当する。（平成 21 年値 : 2.07）

2 比率の解説

- (1) 出生率 = $\frac{\text{年間出生数}}{\text{人口}} \times 1,000$
- (2) 乳児死亡率 = $\frac{\text{年間乳児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$
- (3) 新生児死亡率 = $\frac{\text{年間新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$
- (4) 死産率・自然死産率・人工死産率 = $\frac{\text{年間死産数(総数・自然・人工)}}{\text{年間出産数(出生数+死産数)}} \times 1,000$
- (5) 周産期死亡率 = $\frac{\text{年間周産期死亡数}}{\text{年間出産数(出生数+妊娠満22週以後の死産数)}} \times 1,000$
- (6) 早期新生児死亡率 = $\frac{\text{年間早期新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$
- (7) 妊産婦死亡率 = $\frac{\text{年間妊産婦死亡数}}{\text{年間出産(又は出生)数}} \times 100,000$
- (8) 合計特殊出生率 = $\left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\}$ 15歳から49歳までの合計

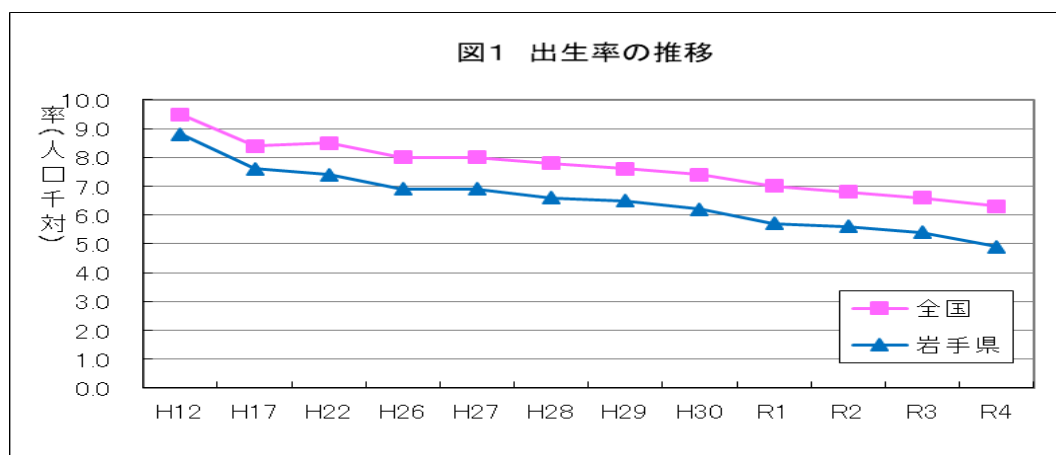
I 母子保健統計からみた岩手県の現状

1 出生の推移

(1) 出生率の推移

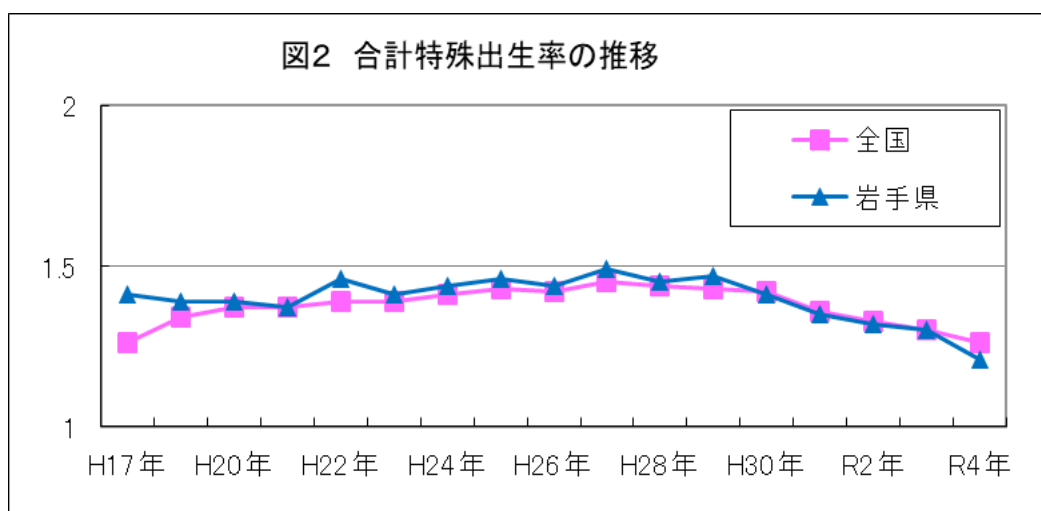
本県の出生率は、第二次大戦後の第一次ベビーブーム期である昭和 24 年の人口千対 37.5 をピークにそれ以降は、大戦影響後の婚姻の正常化に加え、人工妊娠中絶の増加と受胎調節の普及等により、第二次ベビーブーム期前の昭和 40 年頃まで急速に低下した。以降ならかに減少し、昭和 50 年から再び下降線の一途をたどり、平成 4 年には人口千対の出生率は初めて 10.0 を下回った。その低下速度は近年加速し、令和 4 年は 4.9 まで低下している。

全国との比較では、昭和 30 年代までは全国より高率であったが、以降は全国を若干下回り推移している。出生率が全国を下回っていることの要因としては、本県の人口構成において生産年齢（15 歳から 49 歳）の女性人口が少ないこと等が考えられる。



(2) 合計特殊出生率の推移

本県の 15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率を合計した合計特殊出生率は、昭和 25 年以降低下を続け、昭和 51 年に 1.95 と人口置き換え水準（2.08）を下回った後、低下傾向にある。平成 30 年以降全国を下回り、令和 4 年は 1.21 まで低下した。



また、令和4年の保健所別の合計特殊出生率は、県央保健所管内及び盛岡市保健所管内が最も低率であり、次いで、中部保健所管内、一関保健所管内の順となっている。

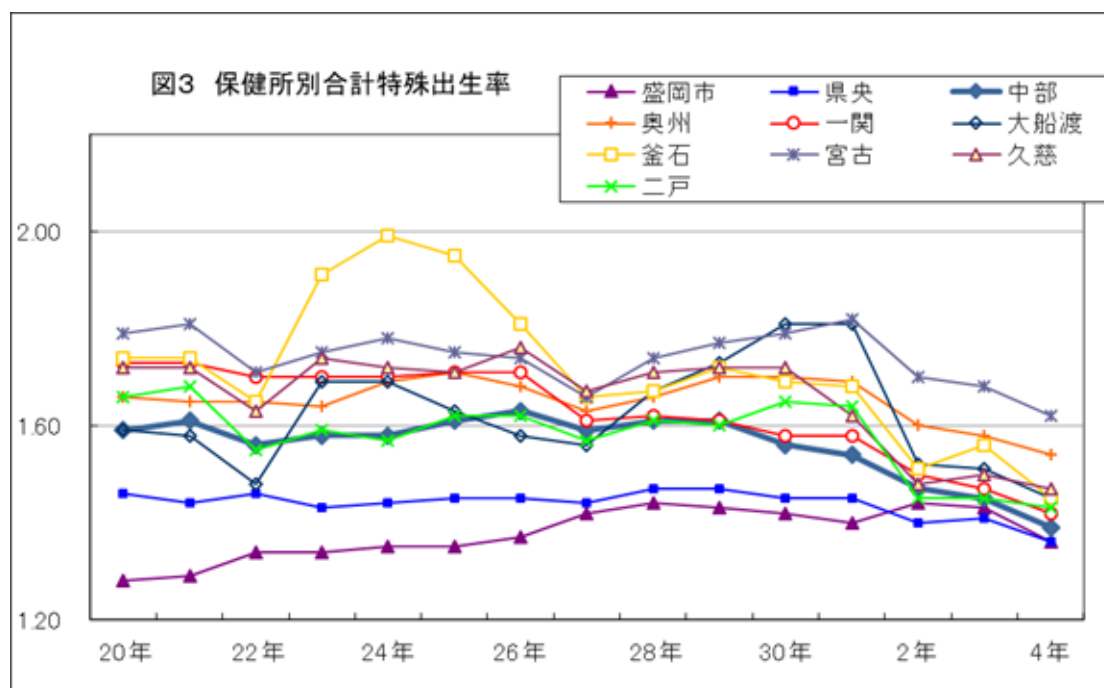
表1 保健所別合計特殊出生率の年次推移

年次	全国	岩手県	保健所別									
			盛岡市	県央	中部	奥州	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
平成20年	1.32	1.39	1.28	1.46	1.59	1.66	1.73	1.59	1.74	1.79	1.72	1.66
21年	1.34	1.39	1.29	1.44	1.61	1.65	1.73	1.58	1.74	1.81	1.72	1.68
22年	1.37	1.39	1.34	1.46	1.56	1.65	1.70	1.48	1.65	1.71	1.63	1.55
23年	1.37	1.37	1.34	1.43	1.58	1.64	1.70	1.69	1.91	1.75	1.74	1.59
24年	1.39	1.46	1.35	1.44	1.58	1.69	1.70	1.69	1.99	1.78	1.72	1.57
25年	1.39	1.41	1.35	1.45	1.61	1.71	1.71	1.63	1.95	1.75	1.71	1.62
26年	1.41	1.44	1.37	1.45	1.63	1.68	1.71	1.58	1.81	1.74	1.76	1.62
27年	1.43	1.46	1.42	1.44	1.59	1.63	1.61	1.56	1.66	1.66	1.67	1.57
28年	1.42	1.44	1.44	1.47	1.61	1.66	1.62	1.67	1.67	1.74	1.71	1.61
29年	1.45	1.49	1.43	1.47	1.61	1.70	1.61	1.73	1.72	1.77	1.72	1.60
30年	1.44	1.45	1.42	1.45	1.56	1.70	1.58	1.81	1.69	1.79	1.72	1.65
令和元年	1.43	1.47	1.40	1.45	1.54	1.69	1.58	1.81	1.68	1.82	1.62	1.64
2年	1.42	1.41	1.44	1.40	1.47	1.60	1.50	1.52	1.51	1.70	1.48	1.45
3年	1.36	1.53	1.43	1.41	1.45	1.58	1.47	1.51	1.56	1.68	1.5	1.45
4年	1.26	1.21	1.36	1.36	1.39	1.54	1.42	1.45	1.45	1.62	1.47	1.43

資料：全国値及び岩手県値は人口動態統計（厚生労働省大臣官房統計情報部）

保健所値は保健福祉年報（岩手県保健福祉部）（過去5年間の平均値で算出）

中部保健所は、平成17年から21年までは再編前の花巻・北上保健所の平均値から算出



(3) 低出生体重児の出生の推移

本県の出生総数に対する 2500 g 未満の低出生体重児の出生割合は、長期的にみると増加しており、令和 4 年は 10.0%である。

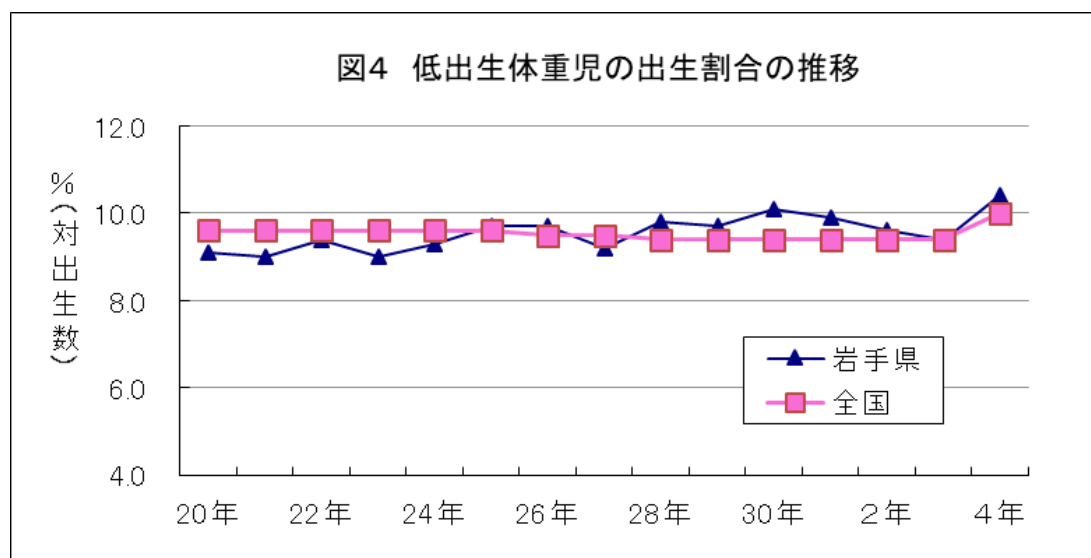
表 2 低出生体重児の出生数及び割合の年次推移

年次	出生数 (A)	低出生体重児数					出生数に 対する割合 (B/A) % 岩手県	出生数に 対する割合 % 全国
		極低出生体重数		1500 g ~ 2000 g 未満	2000 g ~ 2500 g 未満	総 数 (B)		
		1000 g 未満	1000 g ~ 1500 g 未満					
平成 20年	10,223	41	51	109	731	932	9.1	9.6
21年	9,904	36	62	123	674	895	9.0	9.6
22年	9,745	35	46	112	723	916	9.4	9.6
23年	9,310	27	52	105	658	842	9.0	9.6
24年	9,276	32	42	116	673	863	9.3	9.6
25年	9,231	27	40	116	710	893	9.7	9.6
26年	8,803	30	47	121	660	858	9.7	9.5
27年	8,814	29	37	115	629	810	9.2	9.5
28年	8,341	24	44	123	625	816	9.8	9.4
29年	8,175	24	31	102	639	796	9.7	9.4
30年	7,615	28	39	103	600	770	10.1	9.4
元年	6,974	24	42	97	529	692	9.9	9.4
2年	6,718	28	36	85	499	648	9.6	9.2
3年	6,472	21	21	96	471	609	9.4	9.4
4年	5,788	17	24	74	465	580	10.0	10.4

(注) 低出生体重児：出生時体重2,500 g 未満

資料 岩手県値：保健福祉年報（岩手県保健福祉部）

全国値：人口動態統計（厚生労働省大臣官房統計情報部）



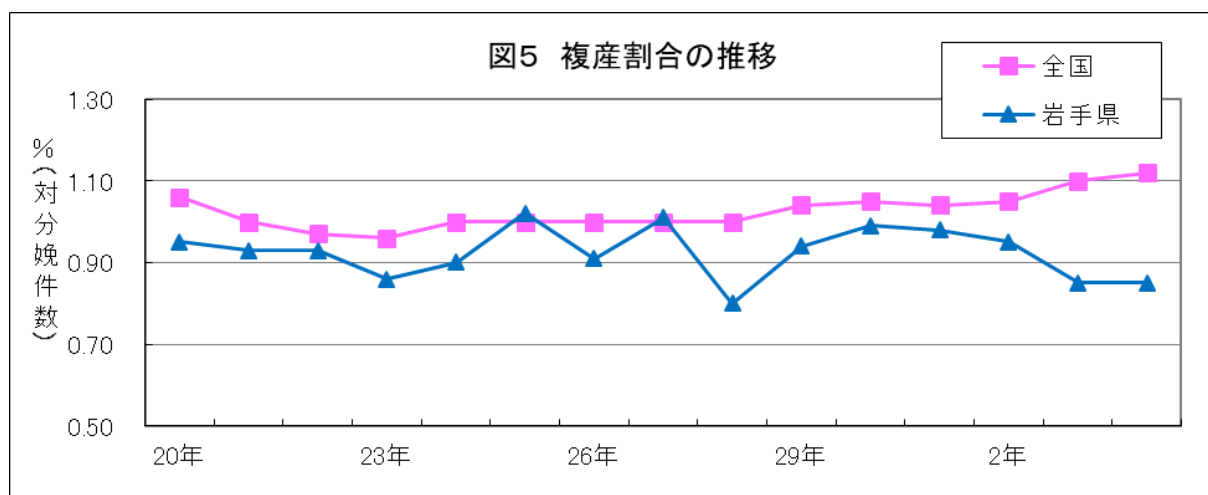
(4) 単産、複産別分娩の推移

本県の分娩件数に対する複産の割合は、一時的に増加傾向となったが、分娩件数の減少に伴い、複産の割合も減少傾向にある。複産の割合は、分娩件数 117 件に対し概ね 1 件の割合であった。

表 3 単産・複産別分娩件数の年次推移（岩手県）

年次	分娩件数 総数 (A)	単産	複産				分娩件数に 対する 複産割合 (B/A) % 岩手県	分娩件数に 対する 複産割合 % 全国
			双子	三つ児	四つ児	総 数 (B)		
平成20年	10,401	10,302	98	0	1	99	0.95	1.06
21年	10,073	9,978	92	2	0	94	0.93	1.00
22年	9,944	9,852	92	0	0	92	0.93	0.97
23年	9,482	9,400	80	2	0	82	0.86	0.96
24年	9,452	9,366	83	2	0	85	0.90	1.00
25年	9,390	9,294	95	1	0	96	1.02	1.00
26年	8,932	8,850	78	3	0	81	0.91	1.00
27年	8,938	8,847	88	2	0	90	1.01	1.00
28年	8,457	8,390	66	1	0	67	0.79	1.00
29年	8,259	8,180	78	0	0	78	0.94	1.04
30年	7,709	7,633	72	3	0	75	0.97	1.05
元年	7,057	6,988	66	3	0	69	0.98	1.04
2年	6,801	6,736	63	2	0	65	0.96	1.05
3年	6,543	6,487	54	2	0	56	0.86	1.10
4年	5,850	5,800	50	0	0	50	0.85	1.12

資料：人口動態統計（厚生労働省大臣官房統計情報部）



(5) 出生場所別出生の推移

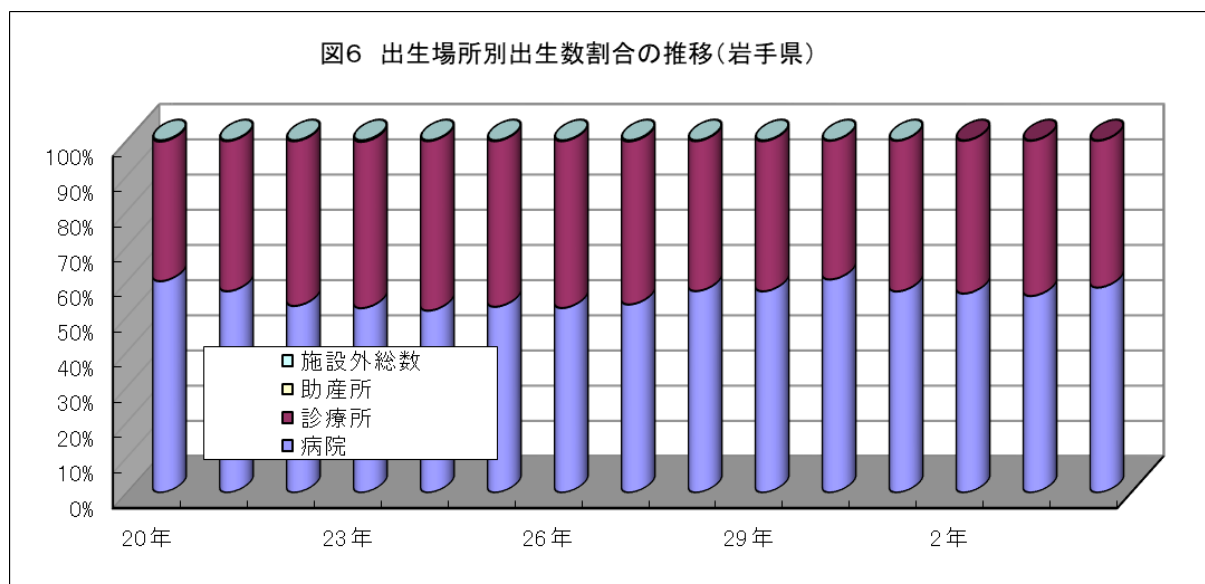
本県の施設外（自宅等）での出生割合は、平成 21 年以降は 0.1%程度で推移しており、令和 4 年は、0.1%（5 件）であった。施設内の出生の内訳では、病院又は診療所での出生が最も多い。

表 4 出生場所別出生数の年次推移（岩手県）

年次	出生数	施設内								施設外			
		病院	割合 (%)	診療所	割合 (%)	助産所	割合 (%)	総数	割合 (%)	自宅	その他	施設外総数	割合 (%)
平成20年	10,223	6,142	60.1	4,058	39.7	4	0.0	10,204	99.8	10	9	19	0.2
21年	9,904	5,660	57.1	4,225	42.7	6	0.1	9,891	99.9	3	3	6	0.1
22年	9,745	5,167	53.0	4,564	46.8	3	0.0	9,734	99.9	6	5	11	0.1
23年	9,310	4,876	52.4	4,407	47.3	7	0.1	9,290	99.8	7	13	20	0.2
24年	9,276	4,797	51.7	4,467	48.2	4	0.0	9,268	99.9	7	1	8	0.1
25年	9,231	4,872	52.8	4,346	47.1	3	0.0	9,221	99.9	8	2	10	0.1
26年	8,803	4,617	52.4	4,174	47.4	4	0.0	8,795	99.9	8	0	8	0.1
27年	8,814	4,716	53.5	4,086	46.4	7	0.1	8,809	99.9	2	3	5	0.1
28年	8,341	4,773	57.2	3,556	42.6	4	0.0	8,341	100.0	7	1	8	0.1
29年	8,175	4,678	57.2	3,489	42.7	1	0.0	8,168	99.9	3	4	7	0.1
30年	7,615	4,605	60.5	3,004	39.4	3	0.0	7,612	100.0	1	2	3	0.0
令和元年	6,974	3,981	57.1	2,988	42.8	2	0.0	6,971	100.0	3	0	3	0.0
2年	6,718	3,799	56.5	2,913	43.4	2	0.0	6,714	99.9	2	2	4	0.1
3年	6,472	3,612	55.8	2,852	44.1	3	0.0	6,467	99.9	2	3	5	0.1
4年	5,788	3,370	58.2	2,413	41.7	0	0.0	5,783	99.9	4	1	5	0.1

資料：保健福祉年報（県保健福祉部）

図6 出生場所別出生数割合の推移（岩手県）



(6) 母の年齢階級別出生の推移

本県の母親の5歳年齢階級別の出生数をみると、平成19年から30～34歳が多くなり、令和4年も30～34歳が最も多く、1,980人であった。母の年齢階級別出生率の推移をみると、全体的に減少傾向となっている。

表5 母の年齢階級別出生数の年次推移（岩手県）（人）

年次	出生数	母の年齢区分								
		～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳～
平成20年	10,223	1	145	1,634	3,311	3,364	1,506	257	5	0
21年	9,904	0	136	1,429	3,183	3,215	1,677	257	7	0
22年	9,745	0	113	1,401	3,125	3,138	1,681	280	7	0
23年	9,310	0	113	1,212	2,993	3,089	1,647	252	4	0
24年	9,276	0	113	1,180	2,965	2,915	1,779	320	3	1
25年	9,231	0	119	1,154	2,712	3,068	1,832	339	7	0
26年	8,803	0	112	1,032	2,664	2,923	1,711	349	12	0
27年	8,814	0	98	1,030	2,667	2,941	1,729	342	7	0
28年	8,341	0	89	987	2,363	2,842	1,673	374	13	0
29年	8,175	0	73	915	2,313	2,805	1,678	373	18	0
30年	7,615	0	62	790	2,193	2,687	1,515	358	10	0
令和元年	6,974	0	59	733	2,006	2,323	1,484	359	9	1
2年	6,718	0	46	642	1,963	2,265	1,415	377	10	0
3年	6,472	1	43	632	1,870	2,163	1,384	370	9	0
4年	5,788	0	36	530	1,615	1,980	1,285	333	9	0

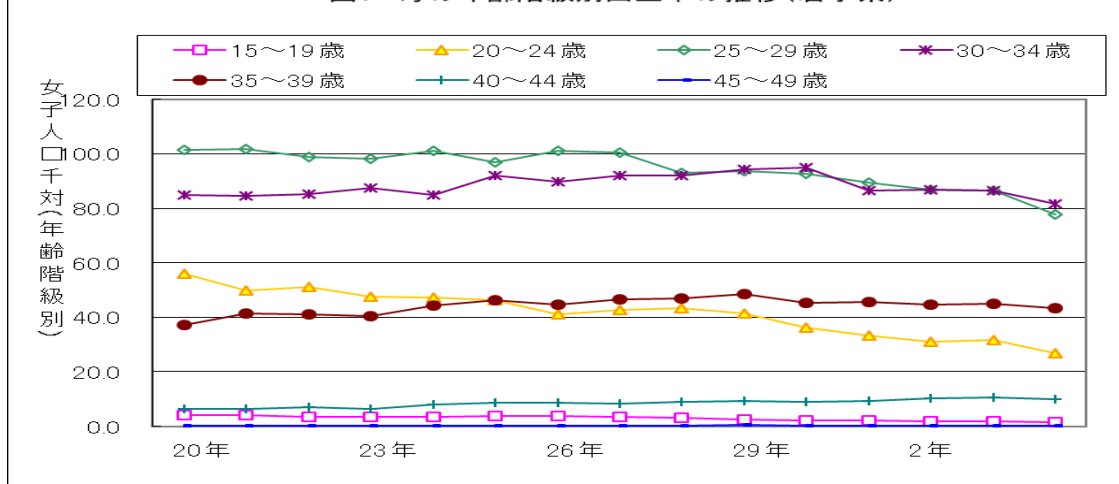
資料：保健福祉年報（岩手県保健福祉部）

表6 母の年齢階級別出生率の年次推移（岩手県）（年齢階級別女性人口千対）

年次	出生数	母の年齢区分								
		～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳～
平成20年	10,223	0.0	4.2	55.9	101.4	84.8	37.1	6.4	0.1	0.0
21年	9,904	0.0	4.0	49.8	101.6	84.5	41.4	6.5	0.2	0.0
22年	9,745	0.0	3.5	51.2	98.8	85.1	41.2	7.1	0.1	0.0
23年	9,310	0.0	3.6	47.6	98.1	87.4	40.3	6.3	0.1	0.0
24年	9,276	0.0	3.6	47.3	101.0	84.9	44.2	8.0	0.1	0.0
25年	9,231	0.0	3.9	46.4	96.9	92.1	46.3	8.5	0.2	0.0
26年	8,803	0.0	3.7	41.1	101.0	89.7	44.7	8.7	0.3	0.0
27年	8,814	0.0	3.5	42.7	100.6	92.1	46.5	8.4	0.2	0.0
28年	8,341	0.0	3.1	43.2	92.9	91.9	46.9	9.1	0.3	0.0
29年	8,175	0.0	2.5	41.5	93.6	94.3	48.7	9.3	0.5	0.0
30年	7,615	0.0	2.2	36.1	92.5	94.9	45.3	9.1	0.3	0.0
令和元年	6,974	0.0	2.2	33.2	89.3	86.4	45.5	9.4	0.2	0.0
2年	6,718	0.0	1.8	31.2	86.9	86.8	44.7	10.3	0.3	0.0
3年	6,472	0.0	1.7	31.5	86.5	86.3	45.1	10.5	0.2	0.0
4年	5,788	0.0	1.5	26.7	77.6	81.5	43.5	9.8	0.2	0.0

資料：保健福祉年報（岩手県保健福祉部）

図7 母の年齢階級別出生率の推移（岩手県）



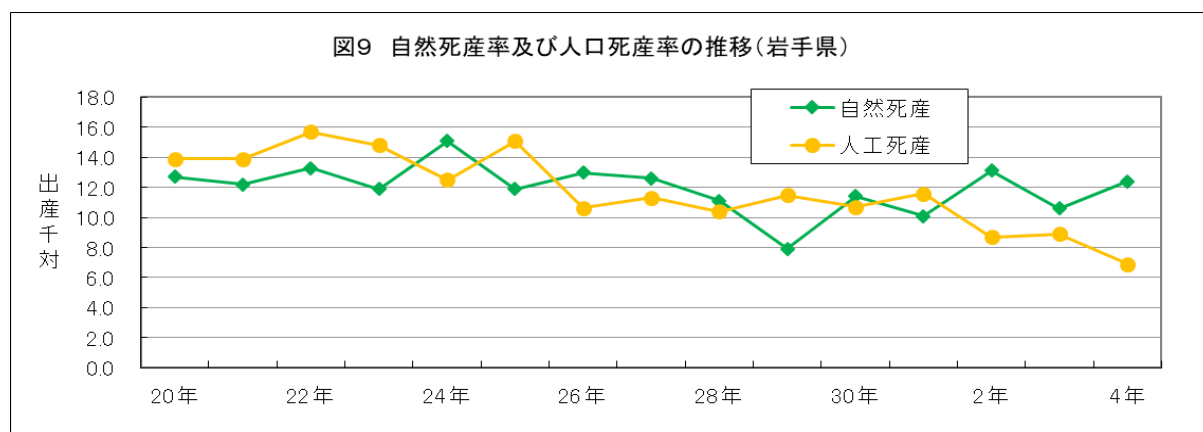
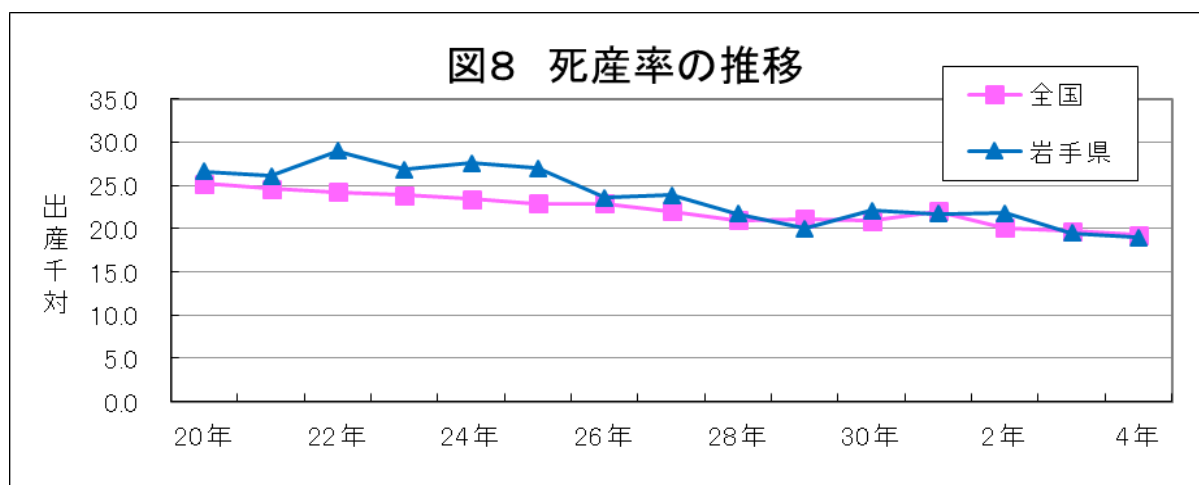
2 死産の推移

昭和 23 年に「優生保護法」が施行され、昭和 23 年以降は自然死産と人工死産に分類されるようになった。「優生保護法」は、平成 8 年に「母体保護法」に改正された。死産の実数については、昭和 40 年以降減少傾向にあり、令和 4 年は 112 件となっている。

表7 死産数及び死産率の推移(岩手県)

年次	実数			率(出産千対)			全死産に対する人工死産の割合(%)
	死産総数			総数死亡率			
	自然死産	人工死産		自然死産	人工死産		
平成20年	279	133	146	26.6	12.7	13.9	52.3
21年	265	124	141	26.2	12.2	13.9	53.2
22年	291	133	158	29.0	13.3	15.7	54.3
23年	256	114	142	26.8	11.9	14.8	55.5
24年	263	144	119	27.6	15.1	12.5	45.2
25年	256	113	143	27.0	11.9	15.1	55.9
26年	213	117	96	23.6	13.0	10.6	45.1
27年	216	114	102	23.9	12.6	11.3	47.2
28年	184	95	89	21.6	11.1	10.4	48.4
29年	162	66	96	19.4	7.9	11.5	59.3
30年	172	89	83	22.1	11.4	10.7	48.3
令和元年	155	72	83	21.7	10.1	11.6	53.5
2年	150	90	60	21.8	13.1	8.7	40.0
3年	129	70	59	19.5	10.6	8.9	45.7
4年	112	72	40	19.4	12.4	6.9	35.7

資料:保健福祉年報(岩手県保健福祉部)



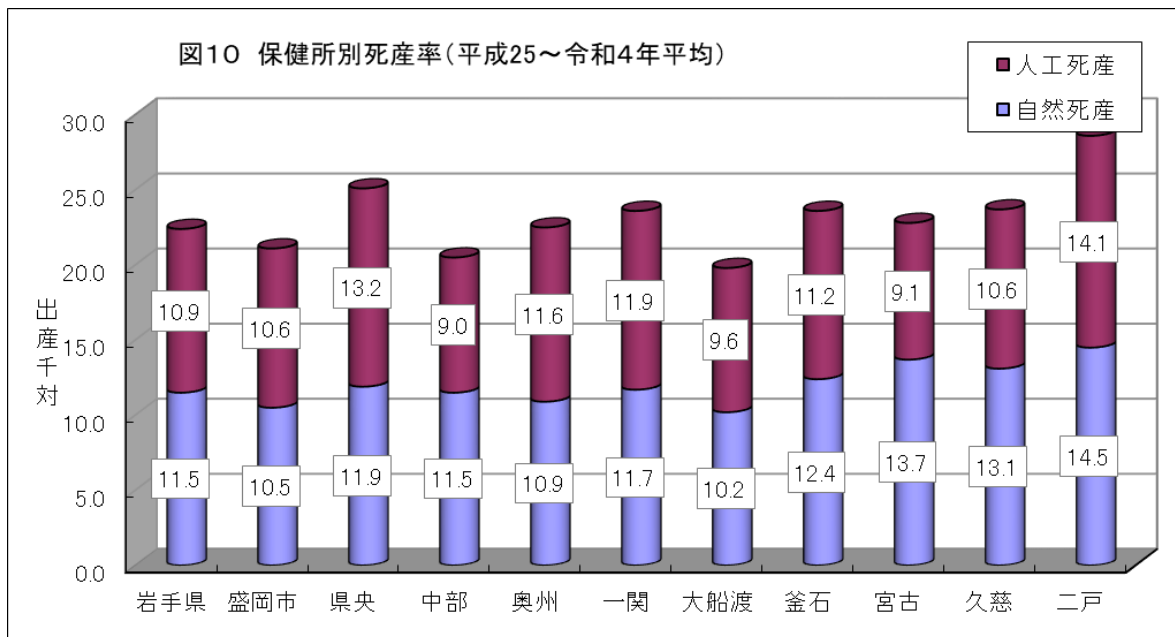
保健所別の死産率をみると、平成25年から令和4年までの死産率の平均では、二戸保健所管内が28.5と最も高く、次いで久慈保健所管内の23.7、一関保健所管内及び釜石保健所管内の23.6の順で高率となっている。また、自然死産の死産率の平均は、二戸保健所管内、宮古保健所管内、久慈保健所管内の順で高くなっている。一方、人工死産の死産率の平均は、二戸保健所管内、県央保健所管内、一関保健所管内の順となっている。

表8 保健所別死産数及び死産率(出産千対)

		25年		26年		27年		28年		29年		30年		元年		2年		3年		4年		25～4 平均率
		実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	
岩手県	総数	256	27.0	213	23.6	216	23.9	184	21.6	162	19.4	172	22.1	155	21.7	150	21.8	129	19.5	112	19.0	22.4
	自然死産	113	11.9	117	13.0	114	12.6	95	11.1	66	7.9	89	11.4	72	10.1	90	13.1	70	10.6	72	12.2	11.5
	人工死産	143	15.1	96	10.6	102	11.3	89	10.4	96	11.5	83	10.7	83	11.6	60	8.7	59	8.9	40	6.8	10.9
盛岡市	総数	62	24.4	57	23.2	52	21.4	53	22.6	46	20.1	44	20.8	50	24.3	38	19.9	33	16.7	23	17.0	21.1
	自然死産	26	10.2	30	12.2	25	10.3	31	13.2	21	9.2	24	11.3	21	10.2	16	8.4	16	8.1	18	11.7	10.5
	人工死産	36	14.2	27	11.0	27	11.1	22	9.4	25	10.9	20	9.4	29	14.1	22	11.5	17	8.6	5	5.3	10.6
県央	総数	45	34.8	36	29.5	33	25.7	28	23.1	25	21.1	29	26.3	23	22.0	14	13.8	25	25.2	22	24.2	25.1
	自然死産	16	12.4	19	15.5	16	12.5	12	9.9	7	5.9	16	14.5	10	9.6	9	8.9	15	15.1	13	14.3	11.9
	人工死産	29	22.4	17	13.9	17	13.3	16	13.2	18	15.2	13	11.8	13	12.5	5	4.9	10	10.1	9	9.9	13.2
中部	総数	41	23.3	32	19.1	39	24.4	33	22.1	25	16.6	28	20.1	31	24.0	27	22.1	18	15.4	15	14.0	20.5
	自然死産	21	11.9	20	12.0	27	16.9	18	12.0	13	8.6	12	8.6	15	11.6	22	18.0	6	5.1	8	7.4	11.5
	人工死産	20	11.4	12	7.2	12	7.5	15	10.0	12	7.9	16	11.5	16	12.4	5	4.1	12	10.3	7	6.5	9.0
奥州	総数	24	23.5	25	27.1	21	21.4	23	24.9	17	18.7	12	14.8	14	19.0	18	24.0	14	20.0	20	30.1	22.5
	自然死産	8	7.8	17	18.4	15	15.3	12	13.0	5	5.5	2	2.5	5	6.8	9	12.0	7	10.0	11	16.5	10.9
	人工死産	16	15.7	8	8.7	6	6.1	11	11.9	12	13.2	10	12.3	9	12.2	9	12.0	7	10.0	9	13.5	11.6
一関	総数	24	27.2	20	24.5	24	30.6	11	14.6	17	24.2	18	25.9	9	15.2	16	26.7	16	30.5	4	8.5	23.6
	自然死産	10	11.3	13	15.9	11	14.0	5	6.6	5	7.1	7	10.1	4	6.8	8	13.4	12	22.9	4	8.5	11.7
	人工死産	14	15.9	7	8.6	13	16.6	6	7.9	12	17.1	11	15.8	5	8.5	8	13.4	4	7.6	0	0.0	11.9
大船渡	総数	8	23.0	7	19.3	6	14.7	5	14.1	9	26.0	6	19.0	5	17.2	9	31.3	4	16.9	3	14.4	19.8
	自然死産	4	11.5	3	8.3	3	7.4	2	5.6	3	8.7	4	12.7	4	13.8	5	17.4	3	12.7	1	4.8	10.2
	人工死産	4	11.5	4	11.0	3	7.4	3	8.5	6	17.3	2	6.3	1	3.4	4	13.9	1	4.2	2	9.6	9.6
釜石	総数	12	38.1	5	17.1	5	17.1	6	22.9	4	13.9	6	23.7	3	13.7	7	36.6	6	28.8	5	29.6	23.6
	自然死産	6	19.0	4	13.7	2	6.8	3	11.5	2	6.9	2	7.9	2	9.1	5	26.2	2	9.6	3	17.8	12.4
	人工死産	6	19.0	1	3.4	3	10.3	3	11.5	2	6.9	4	15.8	1	4.6	2	10.5	4	19.2	2	11.8	11.2
宮古	総数	10	17.6	11	22.2	12	21.7	11	20.8	11	22.4	17	34.7	7	17.0	12	30.3	2	5.6	10	33.2	22.8
	自然死産	7	12.3	3	6.1	5	9.0	5	9.5	8	16.3	13	26.5	2	4.9	10	25.3	1	2.8	8	26.6	13.7
	人工死産	3	5.3	8	16.2	7	12.7	6	11.4	3	6.1	4	8.2	5	12.1	2	5.1	1	2.8	2	6.6	9.1
久慈	総数	12	29.7	11	24.7	16	40.7	9	24.9	1	2.9	6	19.1	9	33.3	3	10.8	6	25.5	3	15.2	23.7
	自然死産	7	17.3	5	11.2	6	15.3	4	11.1	0	0.0	4	12.7	7	25.9	3	10.8	4	17.0	2	10.1	13.1
	人工死産	5	12.4	6	13.5	10	25.4	5	13.9	1	2.9	2	6.4	2	7.4	0	0.0	2	8.5	1	5.1	10.6
二戸	総数	18	50.3	9	27.3	8	26.3	5	17.1	7	25.6	6	20.6	4	18.1	6	27.9	5	24.2	7	40.7	28.5
	自然死産	8	22.3	3	9.1	4	13.2	3	10.3	2	7.3	5	17.2	2	9.0	3	14.0	4	19.3	4	23.3	14.5
	人工死産	10	27.9	6	18.2	4	13.2	2	6.8	5	18.3	1	3.4	2	9.0	3	14.0	1	4.8	3	17.4	14.1

資料：保健福祉年報(岩手県保健福祉部)

平成25年から令和4年の平均率については、過去10年間の死産数実数及び出産数の合計をもって算出

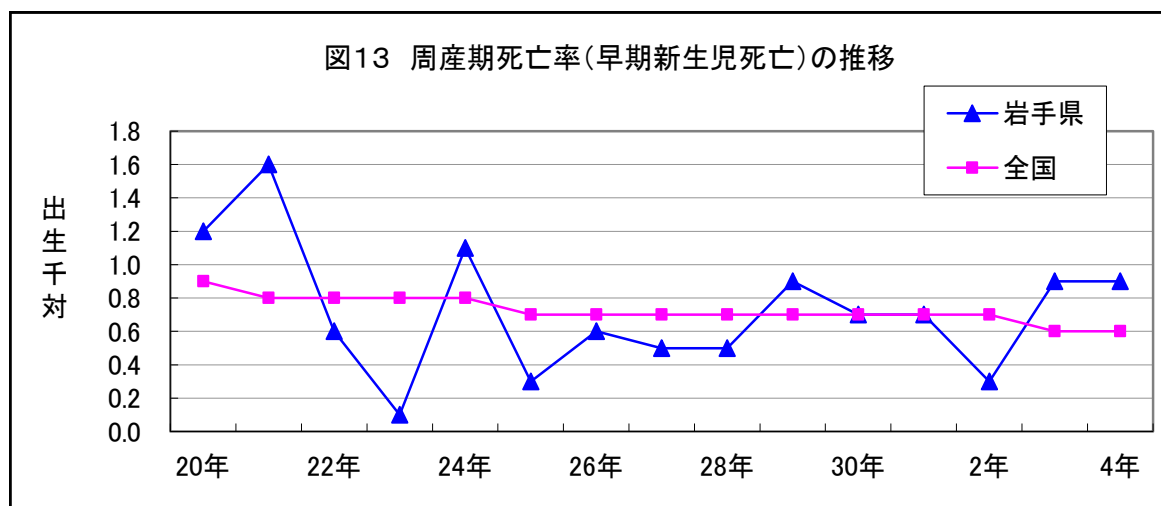
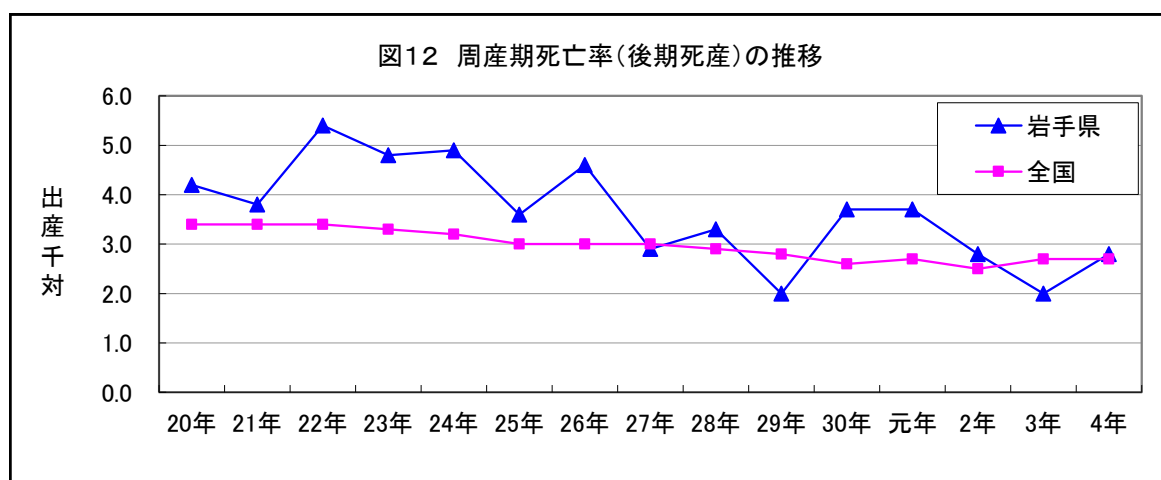
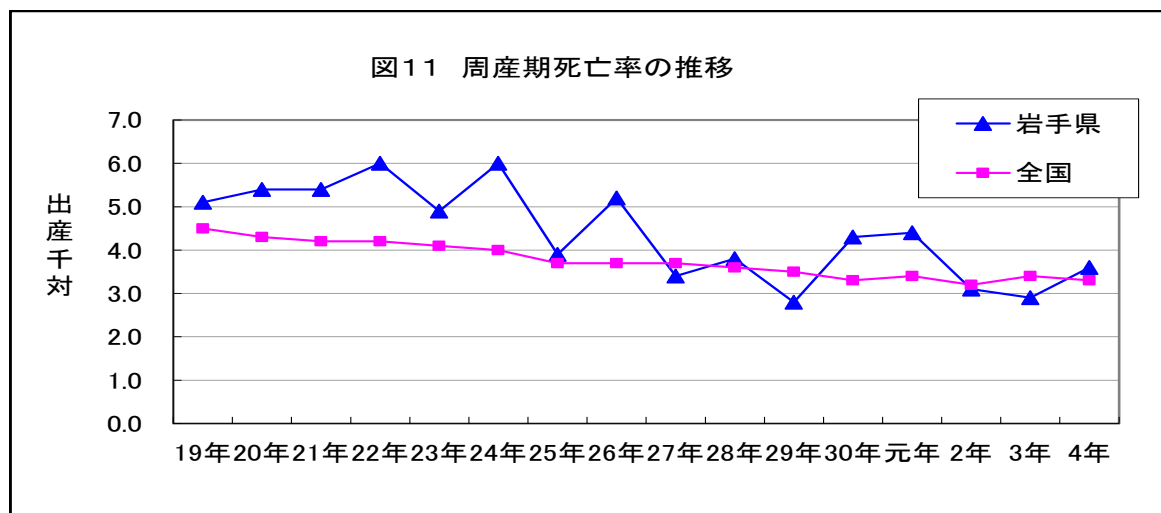


3 周産期死亡の推移

全国及び本県の周産期死亡率は、減少傾向である。本県の周産期死亡率は令和4年に3.6となり、全国（3.3）を上回っている。

また、本県の後期死産率（妊娠22週以降の死産）は全国を上回って推移していたが、令和4年は2.8となり、全国（2.7）を上回った。

早期新生児死亡率（生後1週未満）は、令和4年は0.9となり、全国（0.6）を上回った。



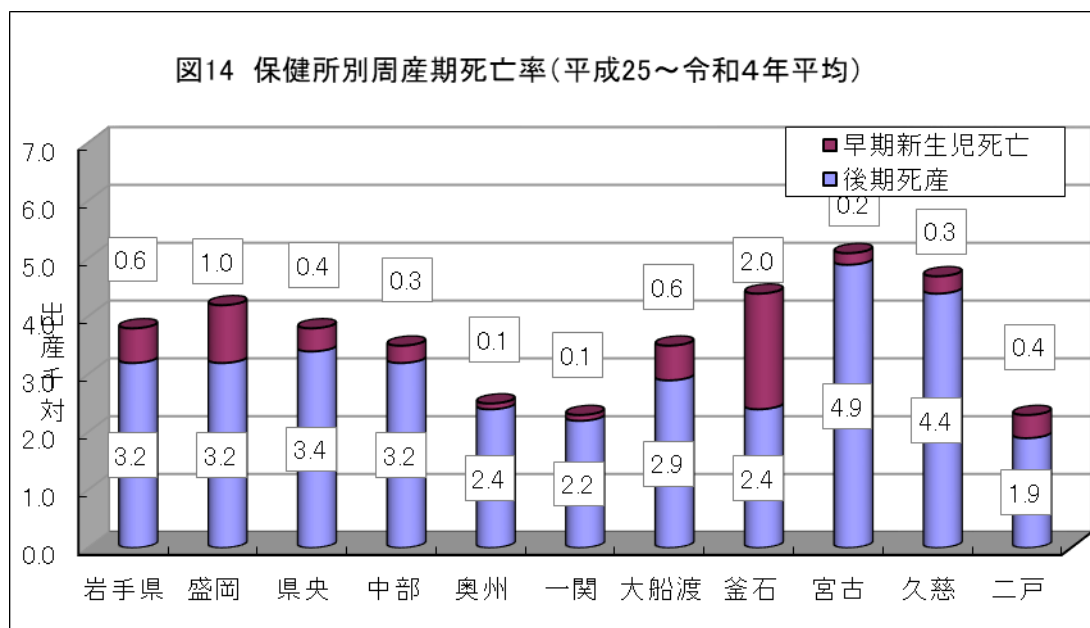
保健所別の周産期死亡率をみると、平成 25 年から令和 4 年までの周産期死亡率の平均では、宮古保健所、久慈保健所、釜石保健所管内の順で高くなっている。

また、後期死産の平均をみると、宮古保健所、久慈保健所、県央保健所管内の順で高くなっており、早期新生児死亡の平均では、釜石保健所、久慈保健所、盛岡市保健所管内の順で高くなっている。

表9 保健所別周産期死亡数及び周産期死亡率(出産千対)

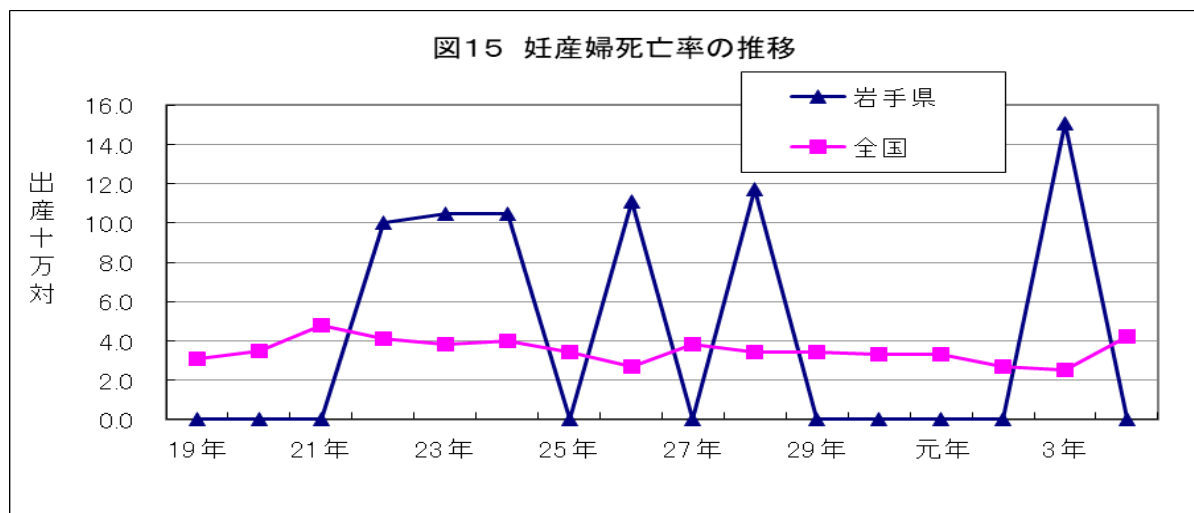
		25年		26年		27年		28年		29年		30年		元年		2年		3年		4年		25～4 平均
		実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	
岩手県	総数	36	3.9	46	5.2	30	3.8	32	3.8	23	2.8	33	4.3	31	4.4	21	3.1	19	2.9	21	3.6	3.7
	後期死産	33	3.6	41	4.6	26	3.3	28	3.3	16	2.0	28	3.7	26	3.7	19	2.8	13	2.0	16	2.8	3.2
	早期新生児死亡	3	0.3	5	0.6	4	0.5	4	0.5	7	0.9	5	0.7	5	0.7	2	0.3	6	0.9	5	0.9	0.6
盛岡市	総数	10	4.0	20	8.3	6	3.5	10	4.3	9	4.0	10	4.8	8	4	6	3.2	4	2.1	6	3.5	4.1
	後期死産	9	3.6	16	6.6	8	3.5	8	3.5	5	2.2	9	4.3	6	3	5	2.7	2	1.0	2	1.2	3.2
	早期新生児死亡	1	0.4	4	1.7	0	0.0	2	0.9	4	1.8	1	0.5	2	1	1	0.5	2	1.0	4	2.3	1.0
県央	総数	3	2.4	5	4.2	3	4.2	5	4.2	0	0.0	7	6.5	8	7.8	4	4.0	5	5.1	3	3.4	3.9
	後期死産	3	2.4	5	4.2	3	4.2	5	4.2	0	0.0	5	4.6	6	5.8	4	4.0	4	4.1	3	3.4	3.4
	早期新生児死亡	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.0	2	1.9	0	0.0	1	1.0	0	0.0	0.4
中部	総数	7	4.1	5	3.0	8	4.1	6	4.1	4	2.7	4	2.9	8	6.3	5	4.2	0	0.0	2	1.9	3.5
	後期死産	5	2.9	5	3.0	6	4.1	6	4.1	4	2.7	4	2.9	8	6.3	5	4.2	0	0.0	2	1.9	3.2
	早期新生児死亡	2	1.2	0	0.0	2	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.3
奥州	総数	3	3.0	5	5.5	2	4.4	4	4.4	1	1.1	1	1.2	1	1.4	1	1.4	0	0.0	4	6.2	2.6
	後期死産	3	3.0	5	5.5	2	4.4	4	4.4	1	1.1	0	0.0	1	1.4	0	0.0	0	0.0	4	6.2	2.4
	早期新生児死亡	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.1
一関	総数	2	2.3	2	2.5	4	2.7	2	2.7	0	0.0	1	1.5	2	3.4	0	0.0	2	3.9	1	2.1	2.4
	後期死産	2	2.3	2	2.5	4	2.7	2	2.7	0	0.0	1	1.5	1	1.7	0	0.0	2	3.9	1	2.1	2.2
	早期新生児死亡	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.1
大船渡	総数	3	8.7	2	5.6	1	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.0	1	3.5	0	0.0	1	4.3	1	4.9	3.5
	後期死産	3	8.7	1	2.8	1	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.0	1	3.5	0	0.0	1	4.3	0	0.0	2.9
	早期新生児死亡	0	0.0	1	2.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.9	0.6
釜石	総数	1	3.3	2	6.9	2	3.9	1	3.9	0	0.0	0	0.0	1	4.6	2	10.8	1	5.0	1	6.1	4.4
	後期死産	1	3.3	2	6.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.6	1	5.4	0	0.0	1	6.1	2.4
	早期新生児死亡	0	0.0	0	0.0	2	3.9	1	3.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.4	1	5.0	0	0.0	2.0
宮古	総数	3	5.3	3	6.2	1	3.9	2	3.9	3	6.3	5	10.5	1	2.5	3	7.8	1	2.8	1	3.4	5.1
	後期死産	3	5.3	3	6.2	1	3.9	2	3.9	3	6.3	5	10.5	1	2.5	3	7.8	0	0.0	1	3.4	4.9
	早期新生児死亡	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.8	0	0.0	0.2
久慈	総数	2	5.1	2	4.6	3	2.8	1	2.8	0	0.0	1	3.2	1	3.8	0	0.0	3	13.0	2	10.2	4.7
	後期死産	2	5.1	2	4.6	3	2.8	1	2.8	0	0.0	1	3.2	1	3.8	0	0.0	2	8.7	2	10.2	4.4
	早期新生児死亡	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.3	0	0.0	0.3
二戸	総数	2	5.8	0	0.0	0	0.0	0	3.5	0	3.5	2	3.5	0	0.0	0	0.0	2	9.8	0	0.0	2.3
	後期死産	2	5.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	2	9.8	0	0.0	1.9
	早期新生児死亡	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	3.5	0	3.5	1	3.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.4

資料：保健福祉年報（岩手県保健福祉部）



4 妊産婦死亡の推移

妊産婦死亡は、妊産婦におかれている保健管理レベルを表す重要な指標であり、本県においては、全国と同様に昭和 60 年代まで減少傾向を示し推移してきた。平成 22～24 年、26 年、28 年、令和 3 年において、各 1 人の死亡が発生した。

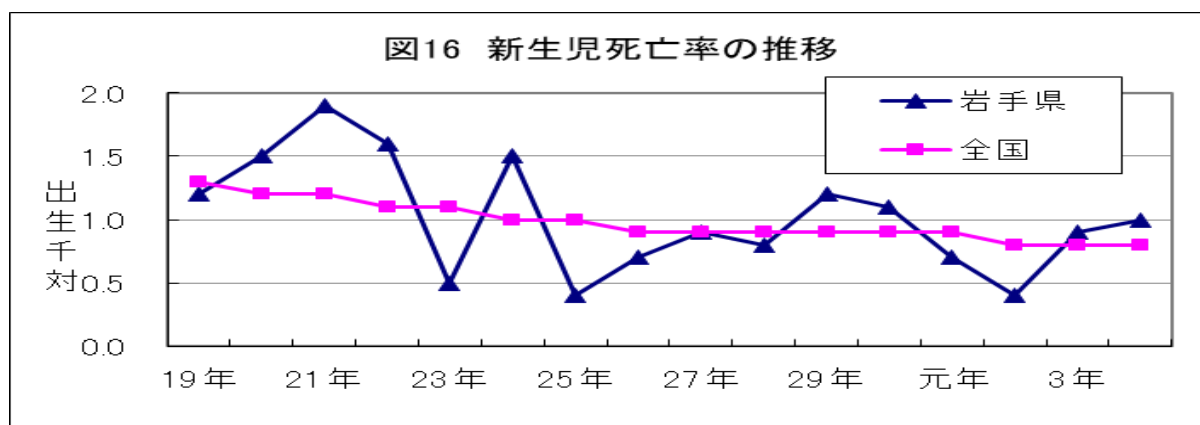


5 乳児死亡の推移

(1) 新生児死亡の推移

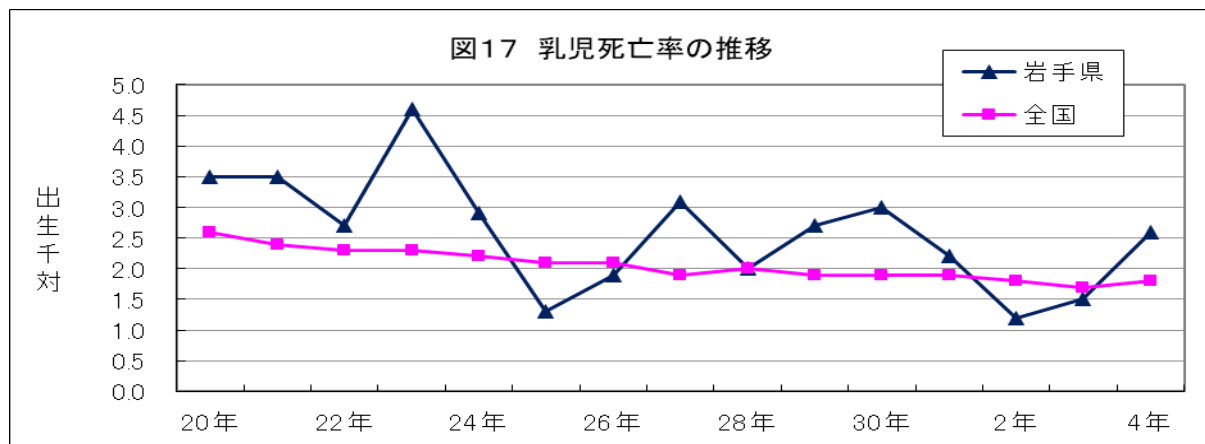
本県の生後 4 週未満の新生児死亡率は、昭和 30 年には出生千対 29.6 であったものが、令和 4 年には 1.0 となっている。

本県においては、昭和 57 年に岩手医科大学附属病院に NICU（新生児集中治療室）が開設されており、生活環境水準の向上とともに、周産期医療体制の整備等がこれまでの新生児死亡数の減少につながっているものと考えられる。



(2) 乳児死亡の推移

本県の乳児死亡率は、家庭の生活水準や衛生状態、地域及び社会全体の保健、医療、環境水準の向上により急速に改善され、昭和22年には出生千対98.2であったものが、昭和35年には48.4と半減。その後も改善し、昭和55年には9.1と1桁台を達成し、昭和60年には5.0とさらに半減。平成7年以降は2.0～3.0程度で推移している。



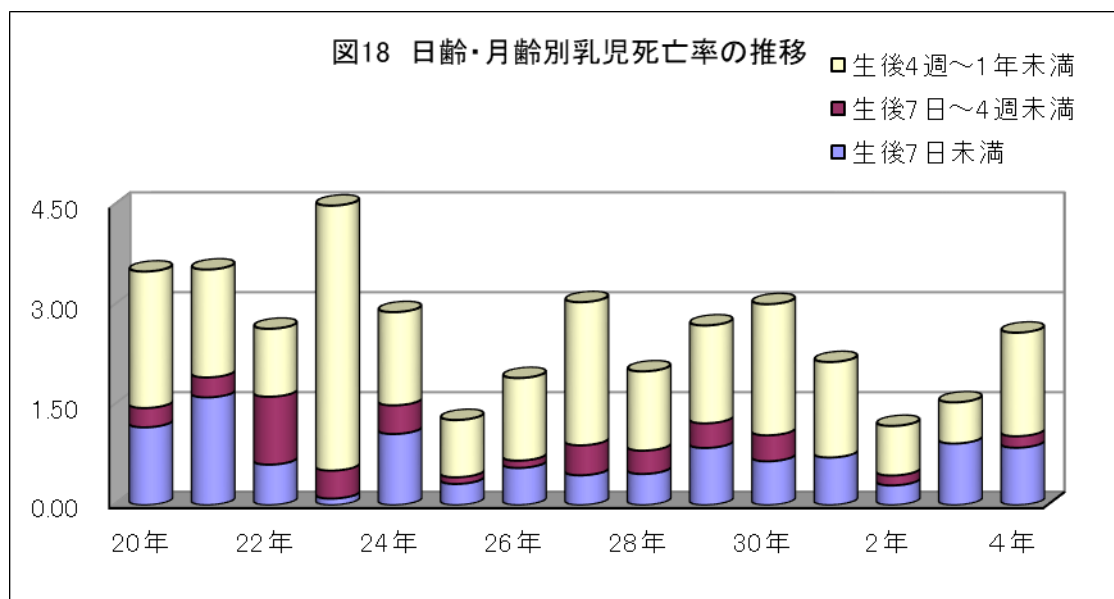
(3) 早期新生児死亡の推移

本県の乳児死亡率を日齢・月齢別に「生後7日未満（早期新生児死亡）」、「生後7日以降4週未満」、「生後4週以降」に分け、それぞれ出生千対でみると、令和4年は、「生後7日未満（早期新生児死亡）」は0.9、「生後4週以降」は0.6であった。

表10 日齢・月齢別乳児死亡数及び乳児死亡率

年次	実数					率(出生千対)				
	乳児死亡数	新生児死亡	生後7日未満	生後7日～4週未満	生後4週～1年未満	乳児死亡率	新生児死亡	生後7日未満	生後7日～4週未満	生後4週～1年未満
平成20年	36	15	12	3	21	3.5	1.5	1.2	0.3	2.1
21年	35	19	16	3	16	3.5	1.9	1.6	0.3	1.6
22年	26	16	6	10	10	2.7	1.6	0.6	1.0	1.0
23年	43	5	1	4	38	4.6	0.5	0.1	0.4	4.1
24年	27	14	10	4	13	2.9	1.5	1.1	0.4	1.4
25年	12	4	3	1	8	1.3	0.4	0.3	0.1	0.9
26年	17	6	5	1	11	1.9	0.7	0.6	0.1	1.2
27年	27	8	4	4	19	3.1	0.9	0.5	0.5	2.2
28年	17	7	4	3	10	2.0	0.8	0.5	0.4	1.2
29年	22	10	7	3	12	2.7	1.2	0.9	0.4	1.5
30年	23	8	5	3	15	3.0	1.1	0.7	0.4	2.0
令和元年	15	5	5	0	10	2.2	0.7	0.7	0.0	1.4
2年	8	3	2	1	5	1.2	0.4	0.3	0.1	0.7
3年	10	6	6	0	4	1.5	0.9	0.9	0.0	0.6
4年	15	6	5	1	9	2.6	1.0	0.9	0.1	1.6

資料：保健福祉年報(岩手県保健福祉部)



(4) 乳児死亡の死因

本県の乳児死亡の死因について、平成25年から令和4年までの10年間の乳児死亡総数に占める死因別死亡割合をみると、図19のとおり「先天性奇形、変形及び染色体異常」が39.1%と最も多く、次いで「周産期に発生した病態」が14.9%となっている。

育児環境等との関連がある「不慮の事故」や「乳幼児突然死症候群」については、年に数件程度の死亡例が報告されている状況にある。

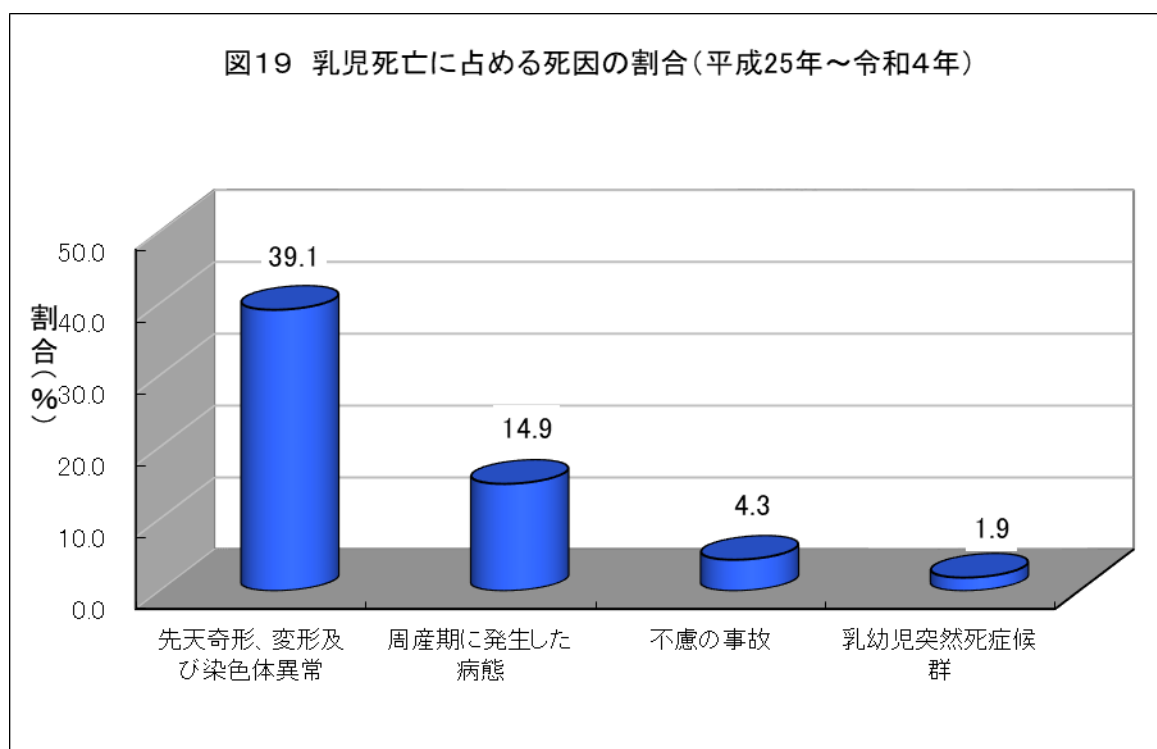


表11 死因別乳児死亡数(岩手県)

(人)

年次		25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年
乳児死亡数		12	17	27	17	22	23	15	8	10	10
乳児死因分類	Ba 01 腸管感染症			2				1			
	Ba 02 敗血症						1	1			
	Ba 03 麻疹										
	Ba 04 ウイルス肝炎										
	Ba 05 その他の感染症及び寄生虫			1			1				
	Ba 06 悪性新生物										1
	Ba 07 白血病										
	Ba 08 その他の悪性新生物										
	Ba 09 その他の新生物	1		1							
	Ba 10 栄養失調症及びその他の栄養欠乏症								1		
	Ba 11 代謝障害	1				1					
	Ba 12 髄膜炎			1							
	Ba 13 脊髄性筋萎縮症及び関連症候群										
	Ba 14 脳性麻痺										
	Ba 15 心疾患(高血圧性除く)		1	1	1		2	2		1	
	Ba 16 脳血管疾患										
	Ba 17 インフルエンザ										
	Ba 18 肺炎		1		1						
	Ba 19 喘息										
	Ba 20 ヘルニア及び腸閉塞							1	1		
	Ba 21 肝疾患										
	Ba 22 腎不全										
	Ba 23 周産期に発生した病態	2	3	4	3	3	7	2	0	3	2
	Ba 24 妊娠期間及び胎児発育に関連する障害		1			1					
	Ba 25 出産外傷										
	Ba 26 出生時仮死		1	1		1		1		1	1
	Ba 27 新生児の呼吸窮迫										
	Ba 28 周産期に発生した肺出血										
	Ba 29 周産期に発生した心血管障害		1							1	
	Ba 30 その他の周産期に特異的な呼吸障害及び血管障害	1		2	1		5	1			
	Ba 31 新生児の細菌性敗血症				1						
	Ba 32 その他の周産期に特異的な感染症										
	Ba 33 胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	1		1			2			1	
	Ba 34 その他の周産期に発生した病態				1	1					1
	Ba 35 先天奇形、変形及び染色体異常	3	10	5	7	9	8	6	3	5	7
	Ba 36 神経系の先天奇形		1								
	Ba 37 心臓の先天奇形		2	1	1		2				
	Ba 38 その他循環器系の先天奇形	1	2			3		3		1	1
	Ba 39 呼吸器系の先天奇形				1	2			1		1
	Ba 40 消化器系の先天奇形		1			1				1	1
	Ba 41 筋骨格系の先天奇形及び変形		1	3	1		1	1		1	
	Ba 42 その他の先天奇形及び変形	1			2				2		2
	Ba 43 染色体異常、他に分類されないもの	1	3	1	2	3	5	2		2	2
	Ba 44 乳幼児突然死症候群	2				1					
	Ba 45 その他の全ての疾患	2	2	10	3	7	3		2	1	4
	Ba 46 不慮の事故	1		2			1	1	1		1
	Ba 47 交通事故							1			
	Ba 48 転倒・転落										
	Ba 49 不慮の溺死及び溺水								1		
	Ba 50 胃内容物誤嚥及び気道閉塞を生じた食物等誤嚥										
	Ba 51 その他の不慮の窒息	1		2							1
	Ba 52 煙、火及び火災への曝露										
	Ba 53 有害物質により不慮の中毒及び有害物質への曝露										
	Ba 54 その他の不慮の事故						1				
	Ba 55 他殺										
	Ba 56 その他の外因				2	1		1			

資料:保健福祉年報(岩手県保健福祉部)

6 人工妊娠中絶の推移

人工妊娠中絶件数は、昭和 23 年に制定された「優生保護法」が昭和 24 年改正により経済的理由による人工妊娠中絶が可能となったことにより、その件数は増加した。しかし、その後家族計画の普及や、15 歳から 49 歳までの女子人口の減少等により人工妊娠中絶件数は年々減少しており、本県の令和 4 年度の人工妊娠中絶件数は、998 人と、平成 20 年の約 3 分の 1 まで減少した。

表12 人工妊娠中絶件数の年次推移

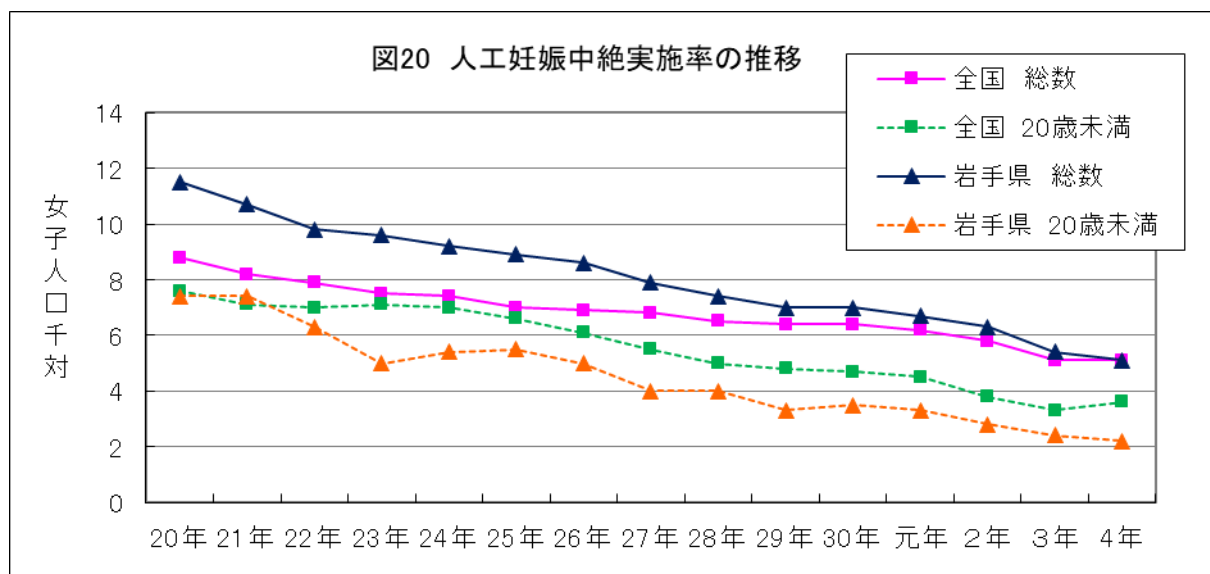
(人)

年次	岩手県	(再掲 年齢階級別)								
		不詳	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上
平成20年度	3,023	0	238	671	660	689	538	214	12	1
21年度	2,775	0	229	601	613	622	479	214	16	1
22年度	2,435	0	198	491	527	506	500	192	19	2
23年度	2,342	1	160	487	523	523	457	173	16	2
24年度	2,205	0	166	457	484	482	429	183	4	0
25年度	2,092	1	165	428	456	454	395	179	14	0
26年度	1,990	0	150	380	399	436	401	211	13	0
27年度	1,786	0	112	379	335	417	345	180	16	2
28年度	1,677	0	117	327	324	353	353	184	19	0
29年度	1,556	0	91	317	321	346	319	148	14	0
30年度	1,511	0	97	307	273	335	328	157	14	0
令和元年度	1,417	0	88	295	256	301	303	165	9	0
令和2年度	1,283	0	71	267	244	254	301	132	14	0
令和3年度	1,081	0	59	209	200	220	258	119	15	1
令和4年度	998	1	52	199	207	174	219	134	12	0

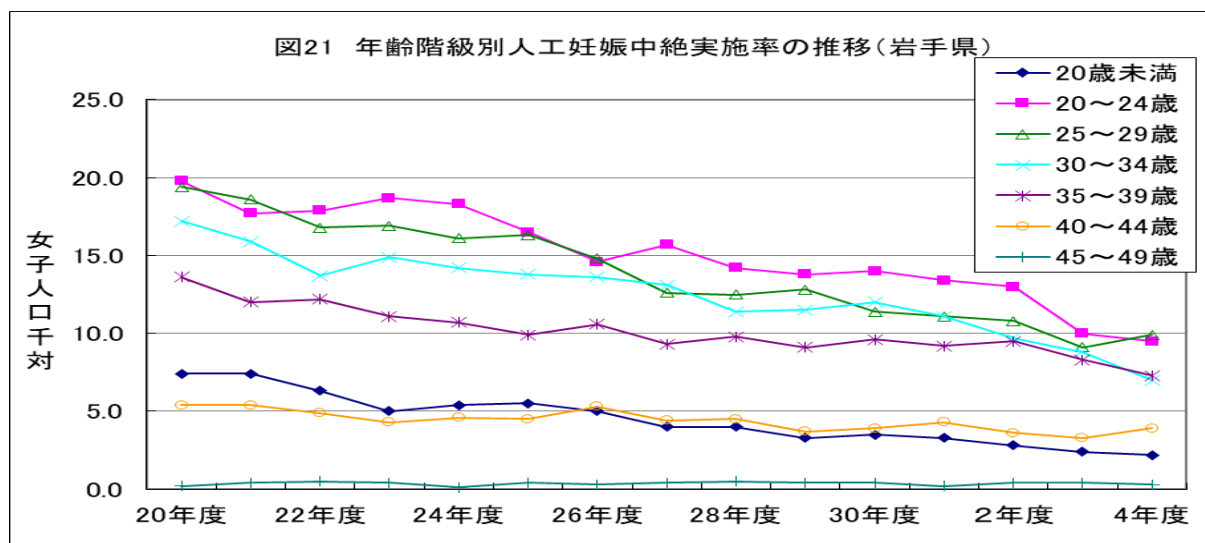
資料：衛生行政報告例

女子人口千人に対する人工妊娠中絶実施率については、本県も全国と同様に毎年減少傾向を示している。

令和 4 年度は、全国と本県の人工妊娠中絶実施率を比較すると、全国と本県は 5.1 と同率となっている。一方、20 歳未満の実施率を比較すると、全国の 3.6 に対し本県は 2.2 で全国を下回っている。



年齢階級別人工妊娠中絶実施率では、特に 30～34 歳において減少傾向となっている。また、人工妊娠中絶実施率が最も高い階層は、25～29 歳となっている。



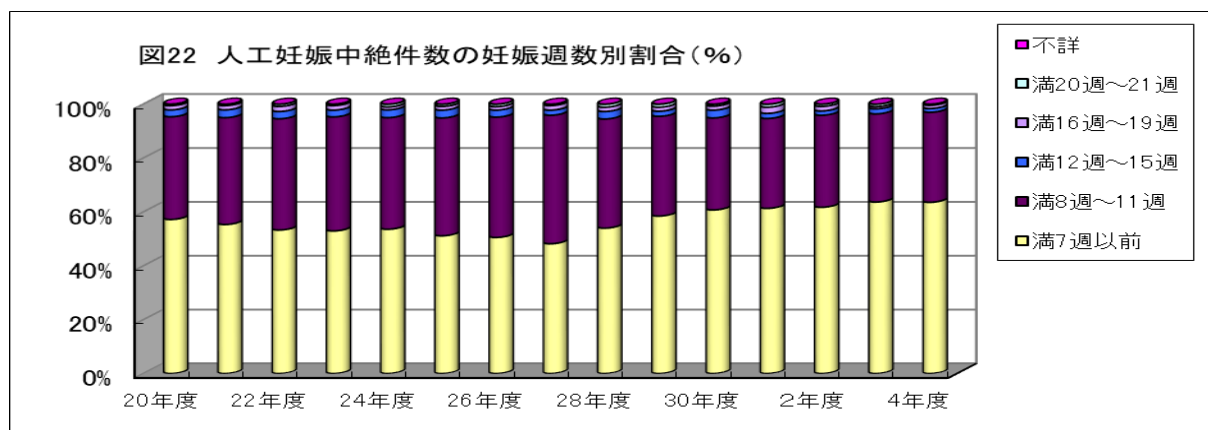
令和4年度の人工妊娠中絶の時期を妊娠週数別にみると、「妊娠満7週未満」が63.6%、「妊娠満8週から11週」が33.4%となっている。

表14 人工妊娠中絶件数の妊娠週数別の年次推移

(人)

年次	岩手県 総数	妊娠週数											
		満7週以前		満8週 ～満11週		満12週 ～満15週		満16週 ～満19週		満20週 ～満21週		不詳	
		実数	割合%	実数	割合%	実数	割合%	実数	割合%	実数	割合%	実数	割合%
平成20年度	3,023	1,730	57.2	1,152	38.1	77	2.5	48	1.6	16	0.5	0	0.0
21年度	2,775	1,536	55.3	1,099	39.6	81	2.9	45	1.6	14	0.5	0	0.0
22年度	2,435	1,296	53.2	1,005	41.2	67	2.7	47	1.9	20	0.8	0	0.0
23年度	2,342	1,238	52.8	990	42.2	59	2.5	41	1.7	14	0.5	0	0.0
24年度	2,205	1,182	53.6	913	41.4	63	2.9	24	1.1	22	1.0	1	0.0
25年度	2,092	1,069	51.1	915	43.7	61	2.9	30	1.4	17	0.8	0	0.0
26年度	1,990	1,007	50.6	890	44.7	51	2.6	25	1.3	17	0.9	0	0.0
27年度	1,786	860	48.2	852	47.7	34	1.9	31	1.7	9	0.5	0	0.0
28年度	1,677	906	54.0	679	40.5	47	2.8	27	1.6	18	1.1	0	0.0
29年度	1,556	911	58.5	575	37.0	29	1.9	24	1.5	17	1.1	0	0.0
30年度	1,511	917	60.7	516	34.1	44	2.9	23	1.5	11	0.7	0	0.0
令和元年度	1,417	869	61.3	472	33.3	27	1.9	33	2.3	16	1.1	0	0.0
2年度	1,283	792	61.7	438	34.1	21	1.6	22	1.7	10	0.8	0	0.0
3年度	1,081	689	63.7	353	32.7	20	1.9	9	0.8	10	0.9	0	0.0
4年度	998	635	63.6	333	33.4	14	1.4	12	1.2	4	0.4	0	0.0

資料：衛生行政報告例



保健所別の人工妊娠中絶実施率をみると、平成 24 年度から令和 3 年度までの実施率の平均では、奥州保健所管内が 8.2 と最も高く、次いで盛岡市の 8.0 の順に高くなっている。

同様に、20 歳未満の実施率の平均は、盛岡市の 5.5、中部保健所管内の 4.5、県央保健所管内の 4.3 の順で高くなっている。

一方で平成 24 年度から令和 3 年度までの実施率の平均が最も低いのは、大船渡保健所管内の 4.0 で、次いで二戸保健所管内の 4.2、久慈保健所管内の 4.4 となっている。

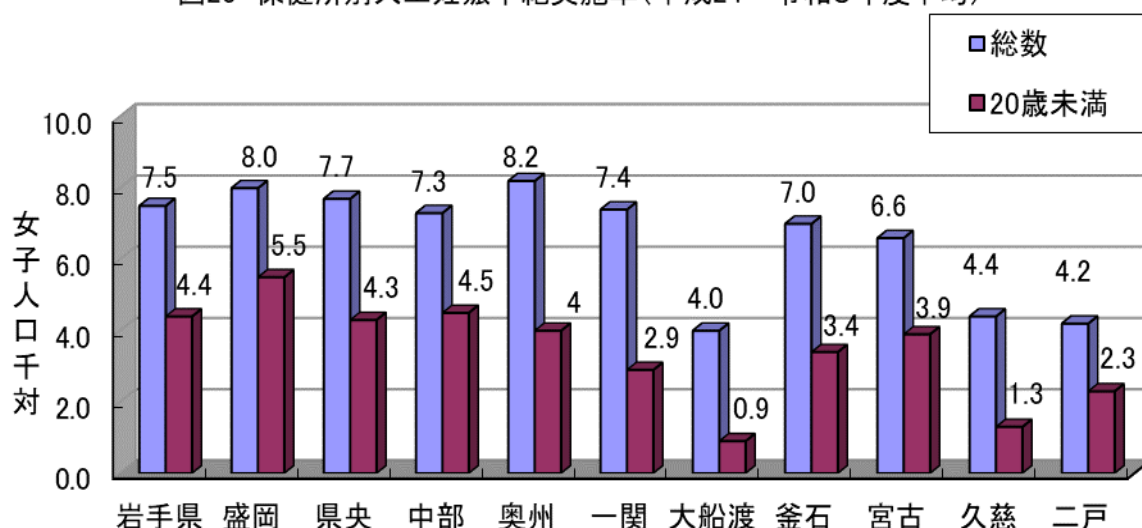
同様に、20 歳未満の実施率の平均については、大船渡保健所管内の 0.9、久慈保健所管内の 1.3、二戸保健所管内の 2.3 の順で低率を示している。

表15 保健所別人工妊娠中絶件数及び人工妊娠中絶実施率（女子人口千対）

		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		H24-R3年 平均率
		実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	
岩手県	総数	2,205	9.2	2,092	9.0	1,990	8.6	1,786	8.0	1,677	7.5	1,556	7.1	1,511	8.7	1,417	6.7	1,283	6.3	1,081	5.4	7.5
	20歳未満	166	5.3	165	5.5	150	5.0	112	3.9	117	4.1	91	3.2	97	4.9	88	3.3	71	2.8	59	2.3	3.9
盛岡市	総数	612	9.3	602	9.3	607	9.4	529	8.5	476	7.6	490	8.0	450	9.0	418	7.1	415	7.3	316	5.7	8.0
	20歳未満	48	6.5	37	5.3	46	6.6	33	4.6	38	5.3	31	4.4	35	5.7	23	3.5	40	5.7	18	2.7	5.0
県央	総数	346	9.9	304	9.1	257	7.7	274	8.4	257	7.8	234	7.3	218	8.6	202	6.5	195	6.4	208	6.9	7.7
	20歳未満	28	6.0	23	5.2	21	4.7	21	4.9	22	5.1	10	2.3	13	5.0	11	2.7	7	1.7	10	2.5	3.9
中部	総数	404	9.8	357	8.9	331	8.2	295	7.5	246	6.2	279	7.2	268	8.5	264	7.1	225	6.2	175	4.9	7.3
	20歳未満	25	4.7	34	6.5	27	5.1	20	3.9	23	4.5	14	2.7	15	4.9	25	5.0	9	2.0	12	2.6	4.1
奥州	総数	232	9.8	226	9.8	206	9.0	180	8.0	187	8.3	154	7.0	186	9.3	153	7.3	154	7.5	118	5.9	8.2
	20歳未満	11	3.4	16	5.1	13	4.2	9	3.0	11	3.7	9	2.9	15	4.5	8	2.8	6	2.3	7	2.6	3.6
一関	総数	172	7.9	187	9.0	197	9.5	169	8.4	160	7.9	127	6.5	121	8.7	133	7.1	107	5.9	95	5.4	7.4
	20歳未満	14	4.7	10	3.4	16	5.5	12	4.3	3	1.1	7	2.5	5	3.9	6	2.3	4	1.6	3	1.2	2.9
大船渡	総数	39	3.8	53	5.3	61	6.1	46	4.9	57	6.1	33	3.7	16	5.1	29	3.5	11	1.3	20	2.5	4.0
	20歳未満	1	0.7	5	3.5	1	0.7	0	0.0	1	0.8	2	1.6	1	1.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.9
釜石	総数	69	9.2	65	9.0	58	8.0	48	6.8	55	7.7	41	5.9	48	8.7	38	5.9	27	4.4	34	5.7	7.0
	20歳未満	4	3.7	7	6.6	5	4.7	4	4.2	1	1.0	2	2.0	2	4.4	1	1.1	2	3.0	3	4.3	3.4
宮古	総数	96	6.9	104	7.9	101	7.6	88	6.9	100	7.8	77	6.2	81	7.9	62	5.5	59	5.4	49	4.7	6.6
	20歳未満	14	7.2	8	4.1	7	3.6	4	2.4	11	6.5	8	4.8	5	4.9	5	3.2	1	0.7	2	1.5	3.9
久慈	総数	71	6.6	62	6.1	45	4.4	55	5.7	34	3.5	34	3.6	34	5.4	31	3.6	28	3.4	21	2.7	4.4
	20歳未満	4	2.5	2	1.3	5	3.3	2	1.5	1	0.8	0	0.0	0	2.6	1	0.8	0	0.0	2	2.1	1.3
二戸	総数	63	6.8	53	6.0	45	5.1	36	4.3	33	4.0	20	2.5	22	5.3	33	4.5	19	2.7	14	2.1	4.2
	20歳未満	7	5.4	10	8.1	2	1.6	1	0.9	2	1.8	0	0.0	1	3.0	0	0.0	1	1.1	1	1.1	2.3

資料：平均率については、保健福祉年報から算出、保健所別実施率は環境保健総合情報システム（岩手県環境保健研究センター）

図23 保健所別人工妊娠中絶実施率（平成24～令和3年度平均）



7 本県の母子保健統計からみる課題（岩手県の母子保健の水準）

（１） 妊婦死亡について

全国と同様に昭和 60 年代まで減少傾向を示し推移してきた。平成 22～24 年、26 年、28 年、令和 3 年において、各 1 人の死亡が発生した。妊産婦死亡は、妊産婦におかれている保健管理レベルを表す指標でもあり、妊産婦死亡ゼロが継続されるよう、妊婦の保健指導の徹底、就労女性に対する労働衛生を含めた健康管理体制、安全な分娩の確保のための体制づくりが必要である。

（２） 乳児死亡について

周産期医療の高度化等により早期新生児を含めた新生児死亡については減少傾向にあるが、育児環境等との関連がある「不慮の事故」や「乳幼児突然死症候群」については、年に数件程度の死亡例が報告されている状況にある。これらは育児環境等の整備により予防が可能な事例が含まれると考えられることから、子育て支援に関する情報提供等の取組を推進していく必要がある。

（３） 周産期死亡について

本県の周産期死亡率は、減少傾向である。本県の周産期死亡率は令和 4 年に 3.6 となり、全国を上回っている。引き続き、妊娠中の母体管理の大切さについての普及啓発や安全な状態で出産できる周産期医療体制の充実強化が必要である。

（４） 死産について

本県の死産率は減少傾向にあり、全国水準と同等になっている。子どもを安心して生み育てることができるよう、妊娠中の母体管理を支援するための環境づくりとともに、妊娠中の母体の管理だけでなく、母体となる前からの健康の管理や命の大切さに対する意識啓発等が必要である。

（５） 低出生体重児の出生割合の増加

本県の出生総数に対する 2500 g 未満の低出生体重児の出生割合は、長期的にみると増加しており、令和 4 年は 10.0%だった。低出生体重児は新生児死亡に至りやすい等のハイリスクであることから、妊娠中の母体管理をはじめとした低出生体重児の出生予防対策が必要である。

また、低出生体重児の出生となる場合においても、安全な状態で出生できるよう周産期医療体制の充実強化が必要である。

低出生体重児の出生後の支援として、児の健やか成長が促されるよう育児に関する情報提供や育児不安など精神的支援についてきめ細やかな養育支援が必要である。

（６） 人工妊娠中絶について

本県の人工妊娠中絶数及び中絶実施率は、平成 13 年以降は減少しており、全国と本県は 5.1 と同率となっている。一方、20 歳未満の人工妊娠中絶実施率については、平成 13 年まで全国との格差を広げ増加傾向で推移してきたが、それ以降は減少に転じており、近年は全国よりも低く推移している。思春期保健対策の中で、人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響や性感染症など性に関する正しい知識の普及と避妊方法の指導等の対策を推進していく必要がある。

また、乳幼児とのふれあい体験などにより、生まれてくる生命の大切さへの理解を深め、人工妊娠中絶に対する意識の変容や子育てのよいイメージを培う機会を積み重ねていくことが必要である。

（７） 多胎の出生について

多胎児の出生は、養育の負担を伴うとともに低出生体重児であることが多く、低出生体重児の養育支援と同様にきめ細やかな養育支援が必要である。

<参考>
母子保健の主なる統計

表 1－1 母子保健の主なる統計（その 1）

年次	出生				乳児死亡				新生児死亡				死産			
	数（人）		率（人口千対）		数（人）		率（出生千対）		数（人）		率（出生千対）		数（人）		率（出産千対）	
	岩手県	全国	岩手県	全国	岩手県	全国	岩手県	全国	岩手県	全国	岩手県	全国	岩手県	全国	岩手県	全国
昭和50年	22,182	1,901,440	16.0	17.1	292	19,103	13.2	10.0	199	12,912	9.0	6.8	1,308	101,862	55.7	50.8
55年	19,638	1,576,889	13.8	13.6	178	11,841	9.1	7.5	127	7,796	6.5	4.9	1,101	77,446	53.1	46.8
60年	17,232	1,431,577	11.8	11.9	87	7,899	5.0	5.5	50	4,910	2.9	3.4	918	69,009	50.6	46.0
平成2年	14,254	1,221,585	10.1	10.0	52	5,616	3.6	4.6	30	3,179	2.1	2.6	694	53,894	46.4	42.3
7年	13,021	1,187,064	9.2	9.6	46	5,054	3.5	4.3	21	2,615	1.6	2.2	513	39,403	37.9	32.1
12年	12,410	1,190,547	8.8	9.5	29	3,830	2.3	3.2	19	2,106	1.5	1.8	480	38,393	37.2	31.2
17年	10,545	1,062,530	7.6	8.4	34	2,958	3.2	2.8	17	1,510	1.6	1.4	361	31,818	33.1	29.1
22年	9,745	1,071,304	7.4	8.5	26	2,450	2.7	2.3	16	1,167	1.6	1.1	291	26,560	29.0	24.2
23年	9,310	1,050,806	7.1	8.3	43	2,463	4.6	2.3	5	1,147	0.5	1.1	256	25,751	26.8	23.9
24年	9,276	1,037,231	7.1	8.2	27	2,299	2.9	2.2	14	1,065	1.5	1.0	263	24,800	27.6	23.4
25年	9,231	1,029,816	7.2	8.2	12	2,185	1.3	2.1	4	1,026	0.4	1.0	256	24,102	27.0	22.9
26年	8,803	1,003,539	6.9	8.0	17	2,080	1.9	2.1	6	952	0.7	0.9	213	23,524	23.6	22.9
27年	8,814	1,005,677	6.9	8.0	27	1,916	3.1	1.9	8	902	0.9	0.9	216	22,617	23.9	22.0
28年	8,341	976,978	6.6	7.8	17	1,928	2.0	2.0	7	874	0.8	0.9	184	20,934	21.6	21.0
29年	8,175	946,065	6.5	7.6	22	1,761	2.7	1.9	10	832	1.2	0.9	162	20,358	19.4	21.1
30年	7,615	918,400	6.2	7.4	23	1,748	3.0	1.9	8	801	1.1	0.9	172	19,614	22.1	20.9
令和元年	6,974	865,239	5.7	7.0	15	1,654	2.2	1.9	5	755	0.7	0.9	155	19,454	21.7	22.0
2年	6,718	840,835	5.6	6.8	8	1,512	1.2	1.8	3	704	0.4	0.8	150	17,278	21.8	20.1
3年	6,472	811,622	5.4	6.6	10	1,399	1.5	1.7	6	658	0.9	0.8	129	16,277	19.5	19.7
4年	5,788	770,759	4.9	6.3	15	1,356	2.6	1.8	6	609	1.0	0.8	112	15,179	19.0	19.3

資料：人口動態統計（厚生労働省大臣官房統計情報部）

表１－２　母子保健の主なる統計（その２）

年次	周産期死亡　注1)												妊産婦死亡				合計特殊出生率	
	数（人）						率（出産千対）						数（人）		率（出産10万対）		岩手県	全国
	岩手県			全国			岩手県			全国			岩手県	全国	岩手県	全国		
		後期死産	早期新生児死亡		後期死産	早期新生児死亡		後期死産	早期新生児死亡		後期死産	早期新生児死亡						
昭和50年	387	229	158	30,513	20,268	10,245	17.5	10.3	7.1	16.0	10.7	5.4	10	546	42.6	27.3	2.14	1.91
55年	437	337	100	32,422	26,268	6,154	21.9	16.9	5.1	20.2	16.4	3.9	6	323	28.9	19.5	1.95	1.75
60年	254	219	35	22,379	18,642	3,737	14.6	12.5	2.0	15.4	12.9	2.6	4	226	22.0	15.1	1.88	1.76
平成2年	169	62	19	13,704	11,367	2,337	11.7	10.4	1.3	11.1	9.2	1.9	1	105	6.7	8.2	1.72	1.54
7年	104	92	12	8,412	6,580	1,832	7.9	7.0	0.9	7.0	5.5	1.5	2	85	14.8	6.9	1.62	1.42
12年	75	59	16	6,881	5,362	1,519	6.0	4.7	1.3	5.8	4.5	1.3	2	78	15.5	6.3	1.56	1.36
13年	85	70	15	6,476	5,114	1,362	6.9	5.7	1.2	5.5	4.3	1.2	1	76	7.8	6.3	1.52	1.33
14年	85	68	17	6,333	4,959	1,374	7.1	5.7	1.4	5.5	4.3	1.2	1	84	8.1	7.1	1.50	1.32
15年	59	54	5	5,929	4,626	1,303	5.2	4.7	0.4	5.3	4.1	1.2	0	69	0.0	6.0	1.45	1.29
16年	69	60	9	5,541	4,357	1,184	6.1	5.3	0.8	5.0	3.9	1.1	0	49	0.0	4.3	1.43	1.29
17年	69	55	14	5,149	4,058	1,091	6.5	5.2	1.3	4.8	3.8	1.0	0	62	0.0	5.7	1.41	1.26
18年	53	38	15	5,100	4,047	1,053	5.0	3.6	1.4	4.7	3.7	1.0	1	54	9.2	4.8	1.39	1.32
19年	53	46	7	4,906	3,854	1,052	5.1	4.4	0.7	4.5	3.5	1.0	0	35	0.0	3.1	1.39	1.34
20年	55	43	12	4,720	3,751	969	5.4	4.2	1.2	4.3	3.4	0.9	0	39	0.0	3.5	1.39	1.37
21年	54	38	16	4,519	3,645	874	5.4	3.8	1.6	4.2	3.4	0.8	0	53	0.0	4.8	1.37	1.37
22年	59	53	6	4,515	3,637	878	6.0	5.4	0.6	4.2	3.4	0.8	1	45	10.0	4.1	1.46	1.39
23年	46	45	1	4,315	3,491	824	4.9	4.8	0.1	4.1	3.3	0.8	1	41	10.5	3.8	1.41	1.39
24年	56	46	10	4,133	3,343	790	6.0	4.9	1.1	4.0	3.2	0.8	1	42	10.5	4.0	1.44	1.41
25年	36	33	3	3,862	3,110	752	3.9	3.6	0.3	3.7	3.0	0.7	0	36	0.0	3.4	1.46	1.43
26年	46	41	5	3,750	3,039	711	5.2	4.6	0.6	3.7	3.0	0.7	1	28	11.1	2.7	1.44	1.42
27年	30	26	4	3,728	3,063	665	3.4	2.9	0.5	3.7	3.0	0.7	0	39	0.0	3.8	1.49	1.45
28年	32	28	4	3,516	2,840	676	3.8	3.3	0.5	3.6	2.9	0.7	1	34	11.7	3.4	1.45	1.44
29年	23	16	7	3,308	2,683	625	2.8	2.0	0.9	3.5	2.8	0.7	0	33	0.0	3.4	1.47	1.43
30年	33	28	5	2,999	2,385	614	4.3	3.7	0.7	3.3	2.6	0.7	0	31	0.0	3.3	1.41	1.42
令和元年	31	26	5	2,955	2,377	578	4.4	3.7	0.7	3.4	2.7	0.7	0	29	0.0	3.3	1.35	1.36
令和2年	21	19	2	2,664	2,112	552	3.1	2.8	0.3	3.2	2.5	0.7	0	23	0.0	2.7	1.32	1.33
令和3年	19	13	6	2,741	2,235	506	2.9	2.0	0.9	3.4	2.7	0.6	1	21	15.1	2.5	1.30	1.30
令和4年	21	16	5	2,527	2,061	466	3.6	2.8	0.9	3.3	2.7	0.6	0	33	0.0	4.2	1.21	1.26

注1) 周産期死亡の後期死産は、昭和50年までは「満28週以後の死産」、昭和55年からは「満22週以後の死産」

周産期死亡率は出産千対（出生数＋妊娠22週以後の死産数）で算出

早期新生児死亡率は出生千対で算出

表 2－1 令和 4 年主要なる統計（保健所、市町村別）

	人口 (平成30年 10月1日)	出生数 -総数	死亡数 -総数	自然増加数 -総数	乳児死 亡数 -総数	新生児 死亡数 -総数	死産数 -総数	死産数 -自然 (不詳含 む)	死産数 -人工	周産期 死亡数 -総数	周産期 死亡数 -後期死 産	周産期 死亡数 -早期新 生児死 亡
岩手県	1,180,512	5,788	19,342	-13,554	15	6	112	72	40	21	16	5
盛岡市保健所	286,219	1,710	3,670	-1,960	4	4	23	18	5	6	2	4
盛岡市	286,219	1,710	3,670	-1,960	4	4	23	18	5	6	2	4
県央保健所	170,497	886	2,449	-1,563	2	-	22	13	9	3	3	-
八幡平市	23,212	93	482	-389	1	-	1	-	1	-	-	-
滝沢市	55,467	345	518	-173	1	-	10	6	4	2	2	-
雫石町	15,165	48	279	-231	-	-	3	2	1	-	-	-
葛巻町	5,373	22	143	-121	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手町	11,639	45	270	-225	-	-	1	1	-	-	-	-
紫波町	32,056	192	449	-257	-	-	4	3	1	1	1	-
矢巾町	27,585	141	308	-167	-	-	3	1	2	-	-	-
中部保健所	213,467	1,060	3,378	-2,318	1	-	15	8	7	2	2	-
花巻市	91,261	454	1,609	-1,155	-	-	6	3	3	-	-	-
北上市	93,029	500	1,133	-633	1	-	6	3	3	2	2	-
遠野市	24,353	97	471	-374	-	-	2	2	-	-	-	-
西和賀町	4,824	9	165	-156	-	-	1	-	1	-	-	-
奥州保健所	125,432	645	2,151	-1,506	-	-	20	11	9	4	4	-
奥州市	110,182	548	1,903	-1,355	-	-	20	11	9	4	4	-
金ヶ崎町	15,250	97	248	-151	-	-	-	-	-	-	-	-
一関保健所	115,094	466	2,255	-1,789	3	-	4	4	-	1	1	-
一関市	108,154	440	2,093	-1,653	3	-	4	4	-	1	1	-
平泉町	6,940	26	162	-136	-	-	-	-	-	-	-	-
大船渡保健所	55,501	206	1,057	-851	3	1	3	1	2	1	-	1
大船渡市	33,182	135	590	-455	3	1	2	1	1	1	-	1
陸前高田市	17,595	60	363	-303	-	-	1	-	1	-	-	-
住田町	4,724	11	104	-93	-	-	-	-	-	-	-	-
釜石保健所	41,056	164	905	-741	1	-	5	3	2	1	1	-
釜石市	30,521	113	696	-583	1	-	3	2	1	1	1	-
大槌町	10,535	51	209	-158	-	-	2	1	1	-	-	-
宮古保健所	72,667	291	1,489	-1,198	-	-	10	8	2	1	1	-
宮古市	47,800	204	934	-730	-	-	7	6	1	1	1	-
山田町	13,783	62	262	-200	-	-	1	1	-	-	-	-
岩泉町	8,164	19	223	-204	-	-	2	1	1	-	-	-
田野畑村	2,920	6	70	-64	-	-	-	-	-	-	-	-
久慈保健所	52,174	195	952	-757	-	-	3	2	1	2	2	-
久慈市	31,572	134	556	-422	-	-	1	-	1	-	-	-
普代村	2,346	8	51	-43	-	-	-	-	-	-	-	-
野田村	3,789	19	77	-58	-	-	-	-	-	-	-	-
洋野町	14,467	34	268	-234	-	-	2	2	-	2	2	-
二戸保健所	48,405	165	1,036	-871	1	1	7	4	3	-	-	-
二戸市	24,471	89	479	-390	1	1	3	2	1	-	-	-
軽米町	7,944	24	209	-185	-	-	1	-	1	-	-	-
九戸村	5,139	18	99	-81	-	-	1	1	-	-	-	-
一戸町	10,851	34	249	-215	-	-	2	1	1	-	-	-

資料：保健福祉年報（岩手県保健福祉部）

表 2－2 令和4年主要なる統計（保健所、市町村別）

	出生率 (人口 千対)	死亡率 (人口千 対)	自然増 加率 (人口 千対)	乳児死 亡率 (出生 千対)	新生児 死亡率 -総数	死産率 -総数 (出産 千対)	死産率 -自然 (出産 千対)	死産率 -人工 (出産 千対)	周産期 死亡率 -総数 (出産 千対)	周産期死亡率 -後期死産 (出産千対)	周産期死亡 率 -早期新生児 死亡 (出生 千対)	合計特殊出 生率
岩手県	4.9	16.4	-11.5	2.6	1.0	19.0	12.2	6.8	3.6	2.8	0.9	1.40
盛岡市保健所	6.0	12.8	-6.8	2.3	2.3	13.3	10.4	2.9	3.5	1.2	2.3	1.36
盛岡市	6.0	12.8	-6.8	2.3	2.3	13.3	10.4	2.9	3.5	1.2	2.3	1.36
県央保健所	5.2	14.4	-9.2	2.3	-	24.2	14.3	9.9	3.4	3.4	-	1.36
八幡平市	4.0	20.8	-16.8	10.8	-	10.6	-	10.6	-	-	-	1.35
滝沢市	6.2	9.3	-3.1	2.9	-	28.2	16.9	11.3	5.8	5.8	-	1.47
雫石町	3.2	18.4	-15.2	-	-	58.8	39.2	19.6	-	-	-	1.27
葛巻町	4.1	26.6	-22.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1.97
岩手町	3.9	23.2	-19.3	-	-	21.7	21.7	-	-	-	-	1.53
紫波町	6.0	14.0	-8.0	-	-	20.4	15.3	5.1	5.2	5.2	-	1.38
矢巾町	5.1	11.2	-6.1	-	-	20.8	6.9	13.9	-	-	-	1.20
中部保健所	5.0	15.8	-10.9	0.9	-	14.0	7.4	6.5	1.9	1.9	-	1.39
花巻市	5.0	17.6	-12.7	-	-	13.0	6.5	6.5	-	-	-	1.37
北上市	5.4	12.2	-6.8	2.0	-	11.9	5.9	5.9	4.0	4.0	-	1.37
遠野市	4.0	19.3	-15.4	-	-	20.2	20.2	-	-	-	-	1.67
西和賀町	1.9	34.2	-32.3	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	1.15
奥州保健所	5.1	17.1	-12.0	-	-	30.1	16.5	13.5	6.2	6.2	-	1.54
奥州市	5.0	17.3	-12.3	-	-	35.2	19.4	15.8	7.2	7.2	-	1.51
金ヶ崎町	6.4	16.3	-9.9	-	-	-	-	-	-	-	-	1.74
一関保健所	4.0	19.6	-15.5	6.4	-	8.5	8.5	-	2.1	2.1	-	1.42
一関市	4.1	19.4	-15.3	6.8	-	9.0	9.0	-	2.3	2.3	-	1.43
平泉町	3.7	23.3	-19.6	-	-	-	-	-	-	-	-	1.50
大船渡保健所	3.7	19.0	-15.3	14.6	4.9	14.4	4.8	9.6	4.9	-	4.9	1.45
大船渡市	4.1	17.8	-13.7	22.2	7.4	14.6	7.3	7.3	7.4	-	7.4	1.43
陸前高田市	3.4	20.6	-17.2	-	-	16.4	-	16.4	-	-	-	1.50
住田町	2.3	22.0	-19.7	-	-	-	-	-	-	-	-	1.55
釜石保健所	4.0	22.0	-18.0	6.1	-	29.6	17.8	11.8	6.1	6.1	-	1.45
釜石市	3.7	22.8	-19.1	8.8	-	25.9	17.2	8.6	8.8	8.8	-	1.38
大槌町	4.8	19.8	-15.0	-	-	37.7	18.9	18.9	-	-	-	1.77
宮古保健所	4.0	20.5	-16.5	-	-	33.2	26.6	6.6	3.4	3.4	-	1.62
宮古市	4.3	19.5	-15.3	-	-	33.2	28.4	4.7	4.9	4.9	-	1.64
山田町	4.5	19.0	-14.5	-	-	15.9	15.9	-	-	-	-	1.56
岩泉町	2.3	27.3	-25.0	-	-	95.2	47.6	47.6	-	-	-	1.69
田野畑村	2.1	24.0	-21.9	-	-	-	-	-	-	-	-	1.85
久慈保健所	3.7	18.2	-14.5	-	-	15.2	10.1	5.1	10.2	10.2	-	1.47
久慈市	4.2	17.6	-13.4	-	-	7.4	-	7.4	-	-	-	1.50
普代村	3.4	21.7	-18.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1.73
野田村	5.0	20.3	-15.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1.77
洋野町	2.4	18.5	-16.2	-	-	55.6	55.6	-	55.6	55.6	-	1.22
二戸保健所	3.4	21.4	-18.0	6.1	6.1	40.7	23.3	17.4	-	-	-	1.43
二戸市	3.6	19.6	-15.9	11.2	11.2	32.6	21.7	10.9	-	-	-	1.41
軽米町	3.0	26.3	-23.3	-	-	40.0	-	40.0	-	-	-	1.55
九戸村	3.5	19.3	-15.8	-	-	52.6	52.6	-	-	-	-	1.32
一戸町	3.1	22.9	-19.8	-	-	55.6	27.8	27.8	-	-	-	1.44

表 3－1 過去3か年の男女別人口（0～14歳）

令和 3 年

（令和 3 年10月1日現在）

年齢別	総数	男	女
総 数	128, 874	66, 024	62, 850
歳			
0～4	35, 653	18, 165	17, 488
0	6, 500	3, 337	3, 163
1	6, 575	3, 302	3, 273
2	7, 072	3, 614	3, 458
3	7, 476	3, 784	3, 692
4	8, 030	4, 128	3, 902
5～9	43, 986	22, 564	21, 422
5	8, 274	4, 275	3, 999
6	8, 688	4, 368	4, 320
7	8, 781	4, 511	4, 270
8	9, 086	4, 672	4, 414
9	9, 157	4, 738	4, 419
10～14	49, 235	25, 295	23, 940
10	9, 403	4, 728	4, 675
11	9, 707	4, 922	4, 785
12	9, 854	5, 148	4, 706
13	10, 027	5, 191	4, 836
14	10, 244	5, 306	4, 938

令和 4 年

（令和 4 年10月1日現在）

年齢別	総数	男	女
総 数	124, 558	63, 825	60, 733
歳			
0～4	33, 632	17, 166	16, 466
0	6, 038	3, 130	2, 908
1	3, 741	3, 338	3, 133
2	6, 600	3, 311	3, 289
3	7, 072	3, 618	3, 454
4	7, 451	3, 769	3, 682
5～9	42, 794	21, 932	20, 862
5	8, 017	4, 132	3, 885
6	8, 263	4, 270	3, 993
7	8, 661	4, 358	4, 303
8	8, 775	4, 511	4, 264
9	9, 078	4, 661	4, 417
10～14	48, 132	24, 727	23, 405
10	9, 151	4, 731	4, 420
11	9, 400	4, 734	4, 666
12	9, 699	4, 925	4, 774
13	9, 850	5, 139	4, 711
14	10, 032	5, 198	4, 834

令和 5 年

（令和 5 年10月1日現在）

年齢別	総数	男	女
総 数	119, 927	61, 454	58, 473
歳			
0～4	31, 706	16, 236	15, 470
0	5, 579	2, 848	2, 731
1	6, 004	3, 110	2, 894
2	6, 456	3, 335	3, 121
3	6, 579	3, 321	3, 258
4	7, 088	3, 622	3, 466
5～9	41, 094	21, 035	20, 059
5	7, 421	3, 770	3, 651
6	7, 994	4, 137	3, 857
7	8, 264	4, 270	3, 994
8	8, 637	4, 348	4, 289
9	8, 778	4, 510	4, 268
10～14	47, 127	24, 183	22, 944
10	9, 062	4, 655	4, 407
11	9, 145	4, 735	4, 410
12	9, 384	4, 732	4, 652
13	9, 707	4, 934	4, 773
14	9, 829	5, 127	4, 702

資料：岩手県人口移動報告年報

表 3－2
死亡数（0～14歳） 保健所・市町村別

保健医療圏 保健所 市町村		総数		0		1		2		3		4		0-4		5-9		10-14	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
令和2年		17	6	6	2	3	-	-	-	-	1	-	-	9	3	6	-	2	3
令和3年		10	10	5	5	1	1	-	-	-	-	-	1	6	7	2	1	2	2
令和4年		15	15	6	9	1	1	1	-	1	-	3	-	12	10	2	4	1	1
盛岡保健医療圏	盛岡保健医療圏	7	5	2	4	-	-	-	-	1	-	2	-	5	4	1	-	1	1
	盛岡市保健所	7	3	2	2	-	-	-	-	1	-	2	-	5	2	1	-	1	1
	盛岡市	7	3	2	2	-	-	-	-	1	-	2	-	5	2	1	-	1	1
	県央保健所	0	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	八幡平市	0	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	滝沢市	0	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	雫石町	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	葛巻町	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	岩手町	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	紫波町	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矢巾町	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	岩手中部保健医療圏	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	2	-	-
	中部保健所	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	2	-	-
	花巻市	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	北上市	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
	遠野市	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	西和賀町	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	胆江保健医療圏	0	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	奥州保健所	0	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	奥州市	0	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	金ヶ崎町	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	両磐保健医療圏	3	2	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	3	1	-	1	-	-
	一関保健所	3	2	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	3	1	-	1	-	-
	一関市	3	2	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	3	1	-	1	-	-
	平泉町	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	気仙保健医療圏	1	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
	大船渡保健所	1	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
	大船渡市	1	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
	陸前高田市	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	住田町	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	釜石保健医療圏	1	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	釜石保健所	1	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	釜石市	1	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	大槌町	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	宮古保健医療圏	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	宮古保健所	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	宮古市	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	山田町	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	岩泉町	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	田野畑村	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	久慈保健医療圏	1	0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	久慈保健所	1	0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	久慈市	1	0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	普代村	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	野田村	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	洋野町	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	二戸保健医療圏	0	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	二戸保健所	0	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	二戸市	0	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	軽米町	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	九戸村	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一戸町	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：保健福祉年報（岩手県保健福祉部）

死亡数（0～14歳）、選択死因分類別

年 齢 ・ 性		悪性 新生物	心疾患	（再掲）		脳血管 疾患	肺炎	不慮の 事故	（再掲）
				不整脈 及び伝 導障害	心不全				交通 事故
令和 4 年		4	2	-	2	-	-	1	1
	男	1	-	-	1	-	-	1	1
	女	3	1	-	-	-	-	-	-
0-4		1	-	1	2	5.9	1	3	-
	男	-	-	1	1	5.8	1	5.8	-
	女	1	1	-	1	6.1	-	-	-
5-9		3	-	-	1	2.3	1	2.3	-
	男	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	1	4.8	1	4.8	-
10-14		-	-	-	-	-	-	-	1
	男	-	-	-	-	-	-	-	1
	女	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：保健福祉年報（岩手県保健福祉部）
※第16表、第19表